



らくらく
Stamping

取扱説明書 設定編

有限会社進栄社
初版 2020年8月

目次

1. 事前設定	1
1.1 アプリインストール	1
1.2 DBの準備	4
1.3 カードリーダーの準備	17
1.4 端末本体の設定	22
1.4.1 スクリーンセーバーと電源オプション	20
1.4.2 スタートアップ	28
1.4.3 Windows Update手動化	30
1.4.4 セキュリティソフト設定	35
2. よくあるトラブル	36

1. 事前設定

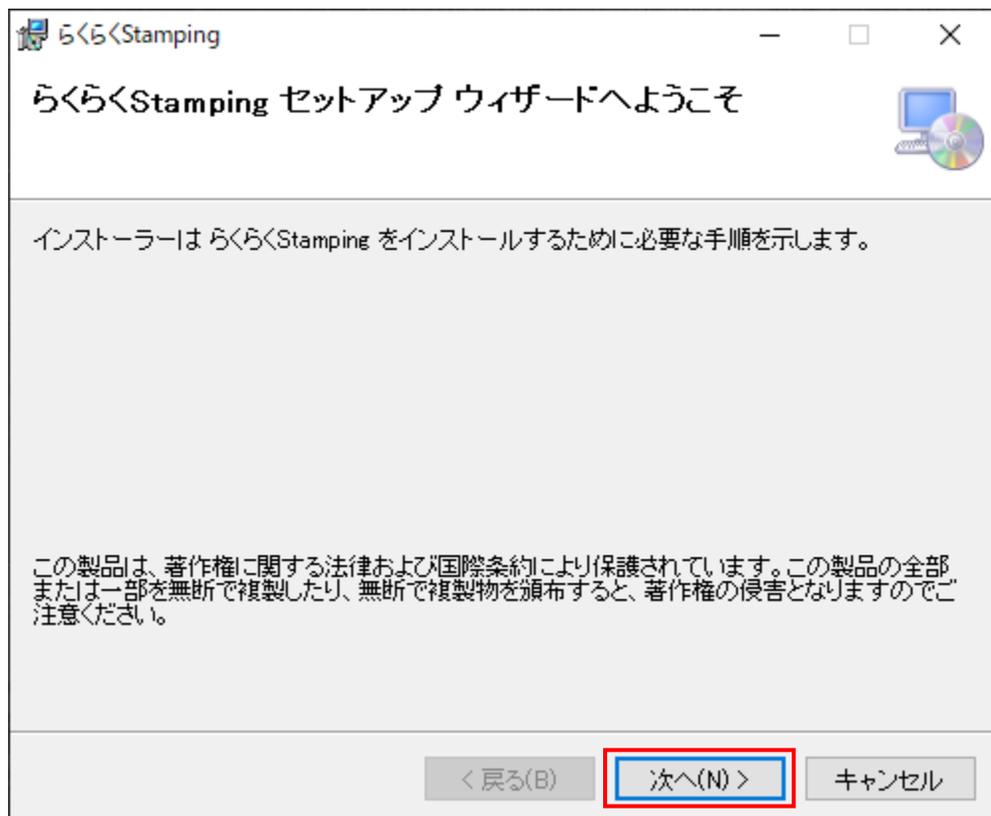
この項ではらくらくStampingをご利用頂くにあたって必要なセットアップについて説明します。

1.1 アプリインストール

ダウンロード頂いたzipファイルを解凍後、フォルダ内にある「TimeRecSetup.msi」ファイルをダブルクリックしてください。

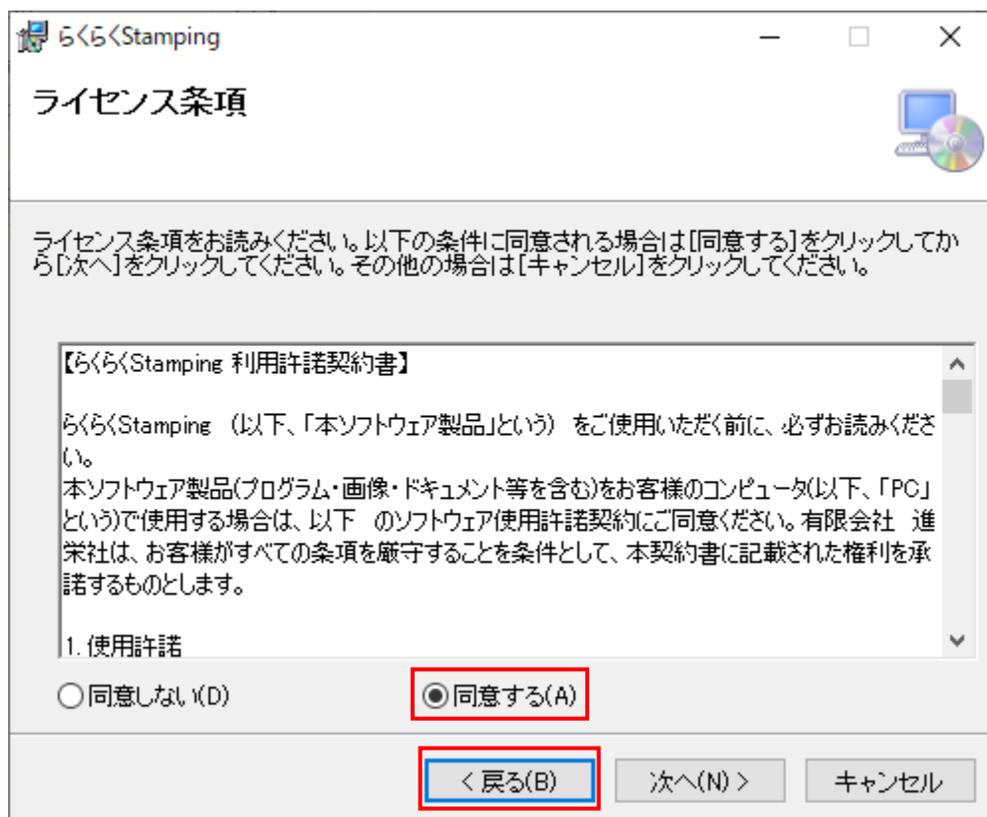
インストールの手順を順に説明します。

①インストーラーを起動すると、下記セットアップウィザードが開かれます。ここでは「次へ」をクリックして下さい。

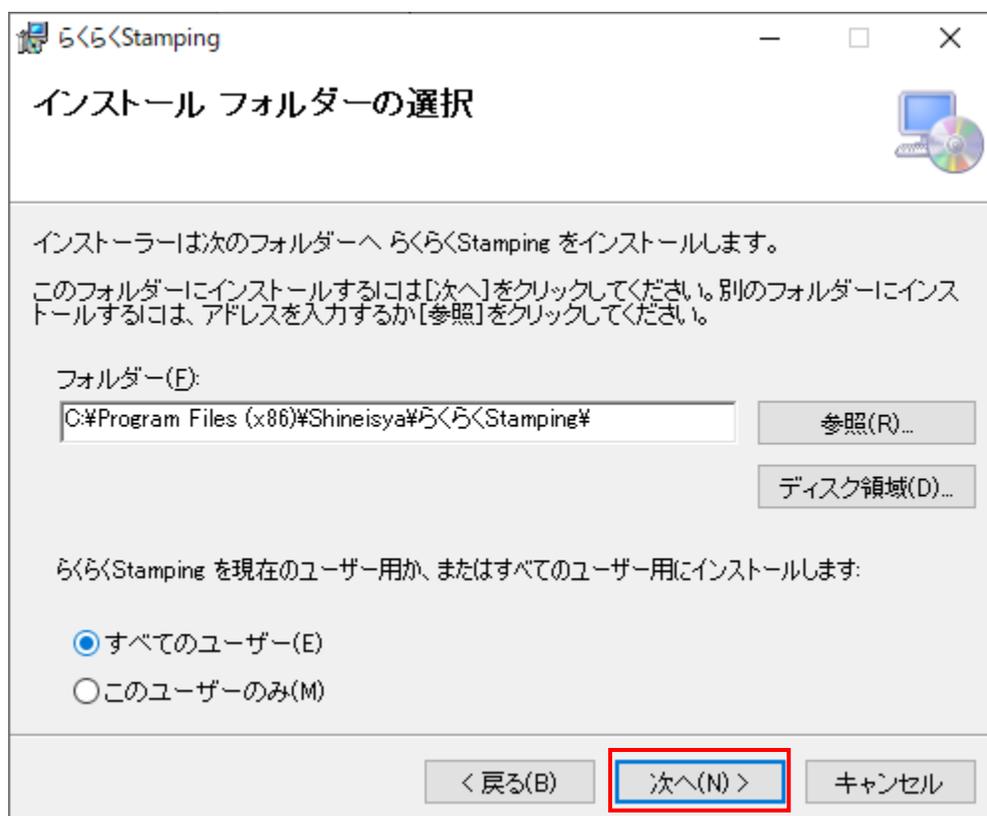


②ライセンス規約が表示されます。内容をご確認頂いた上で、「同意する」のラジオボタンにチェックを入れて頂き、「次へ」をクリックして下さい。

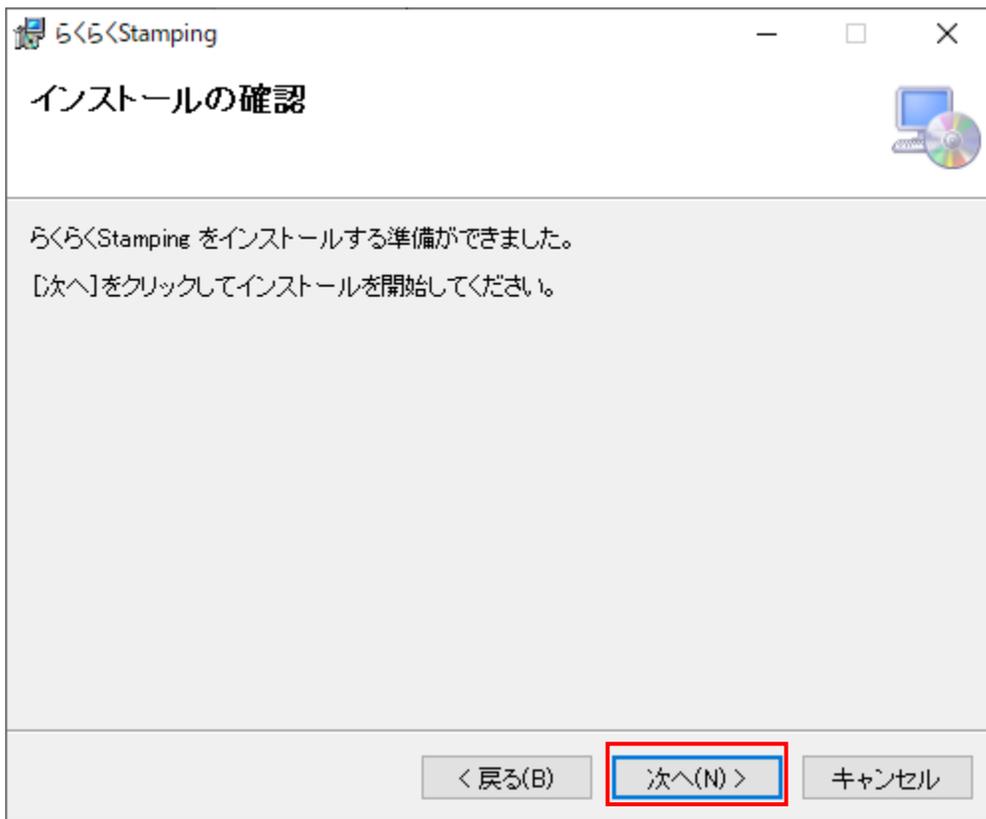
※同内容はダウンロード頂いたファイル内にあります「License.txt」でもご確認頂けます。



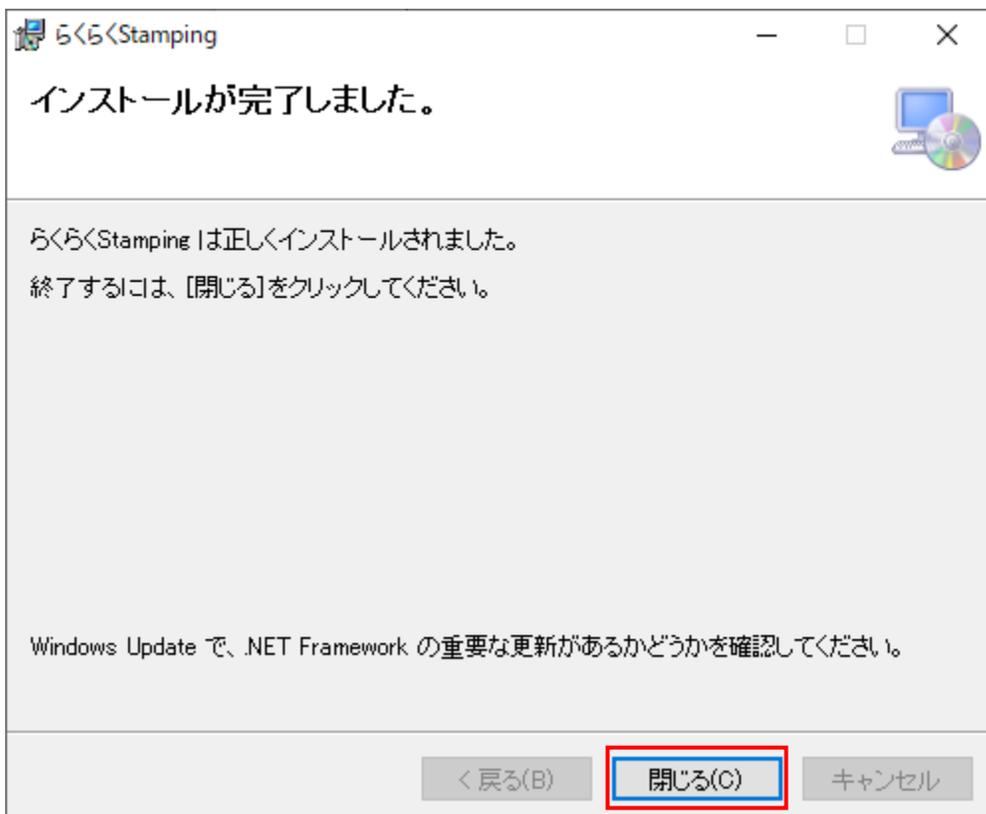
③インストール先のフォルダを設定頂けます。必要に応じて変更して下さい。確認できましたら「次へ」をクリックして下さい。



④ 「次へ」をクリックして下さい。



⑤ ユーザーアカウント制御の画面が出た場合は「はい」をクリックして下さい。しばらくお待ちいただくと、下記画面になります。



これでアプリのインストールは完了です。デスクトップ上にアプリのショートカット、またWindowsスタートメニュー内のアプリ一覧に「らくらくStamping」が追加されていることをご確認下さい。

1.2 DBの準備

本アプリのご利用には、MySQLのインストールが必要です。下記手順にてインストールを実施してください。

インストールに際して、**ネットワークへの接続が必須となります。**

※インストーラーは英語表記となりますがアプリの動作には問題ありません。

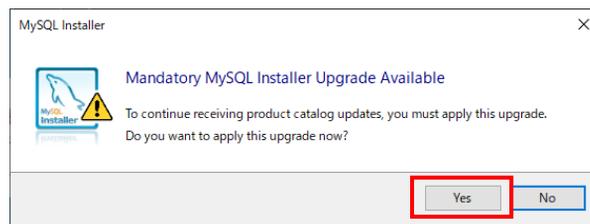
※2 現在ご利用の環境内に既に「MySQL Server 5.7.30」がインストールされている場合は、手順を④までスキップしてください。「8.X.X」がインストールされている場合も別途①からの手順にて「5.7.30」のインストールをお願いします。

①本アプリのインストーラーZIPファイルを解凍して頂いた際に同梱している「DB」フォルダ内にあります、「mysql-installer-web-community-5.7.30.0.msi」ファイルをダブルクリックで起動してください。

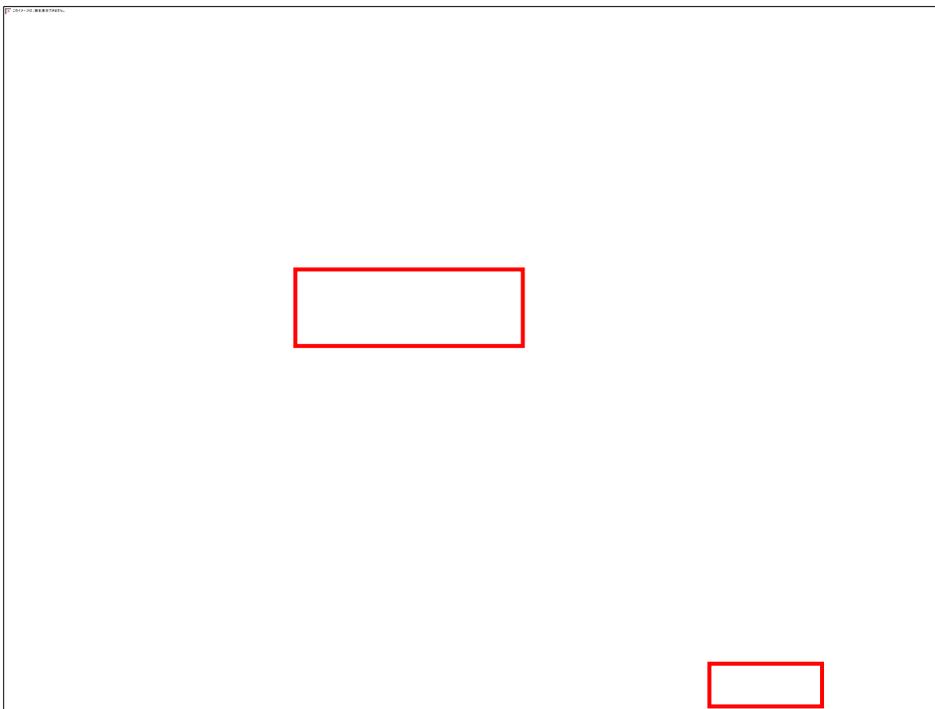
※ユーザーアカウント制御の画面が表示されましたら、必ず「はい」をクリックしてください。

※ライセンス確認の画面が表示された場合は、チェックボックスにチェックを入れてから、「Next」ボタンをクリックして下さい。

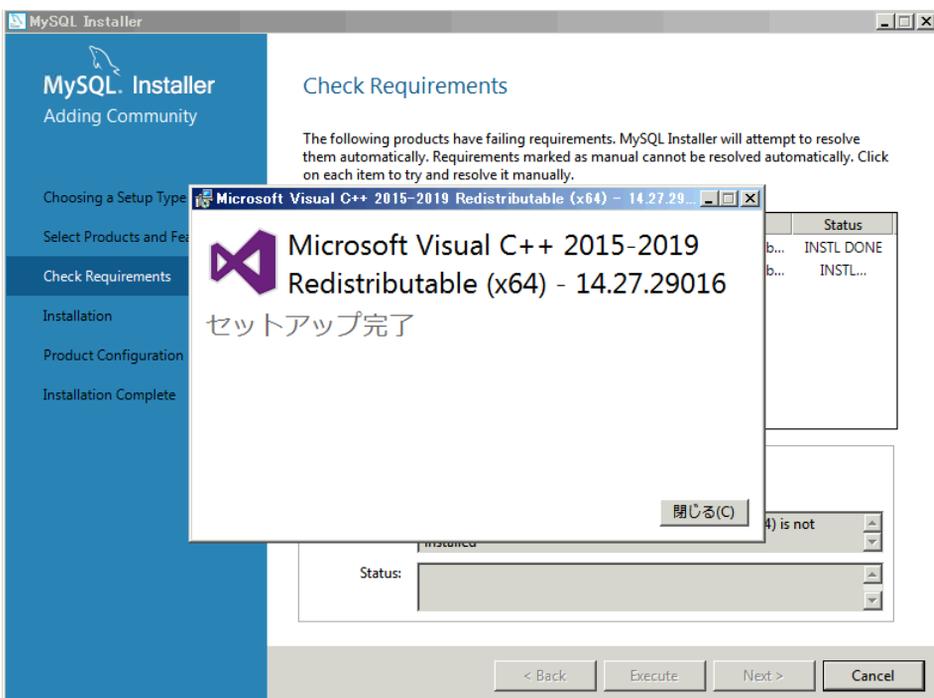
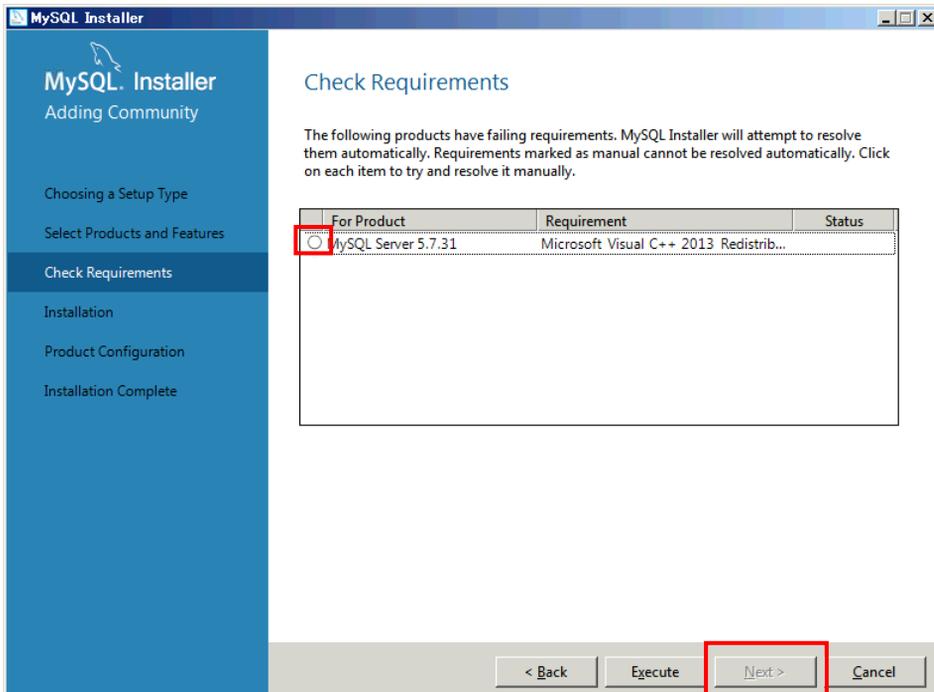
※下記のようなメッセージが表示された場合は「Yes」をクリックして下さい。



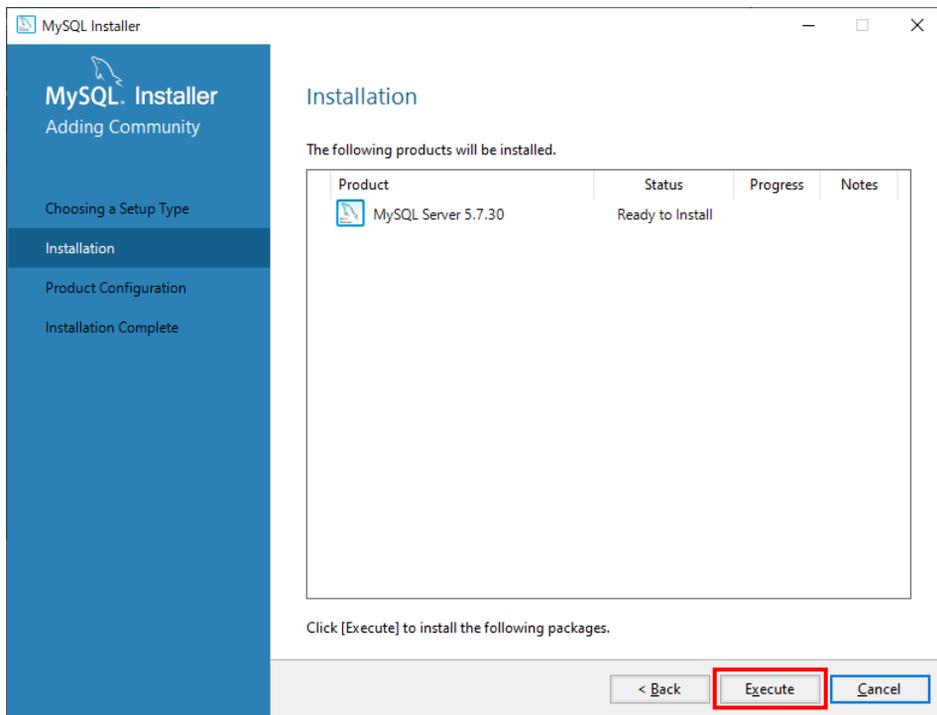
②セットアップのタイプを選択します。「Server only」のラジオボタンにチェックを入れた状態で、「Next」ボタンをクリックして下さい。



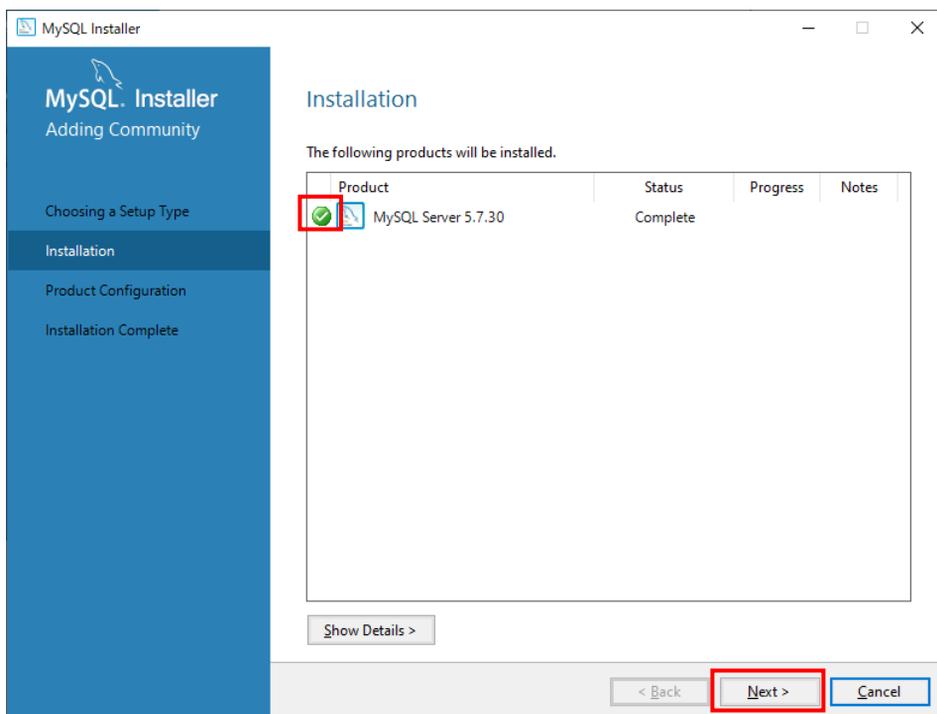
※ご利用になるPC/タブレット端末によっては、次の画像のようにインストールするアプリの利用条件を満たすために、追加でインストールを要求される場合があります。その場合チェックを付けた上で「Next」をクリックし、画面に従ってセットアップを行ってください。（下記例ではC++のインストールを行っています。）



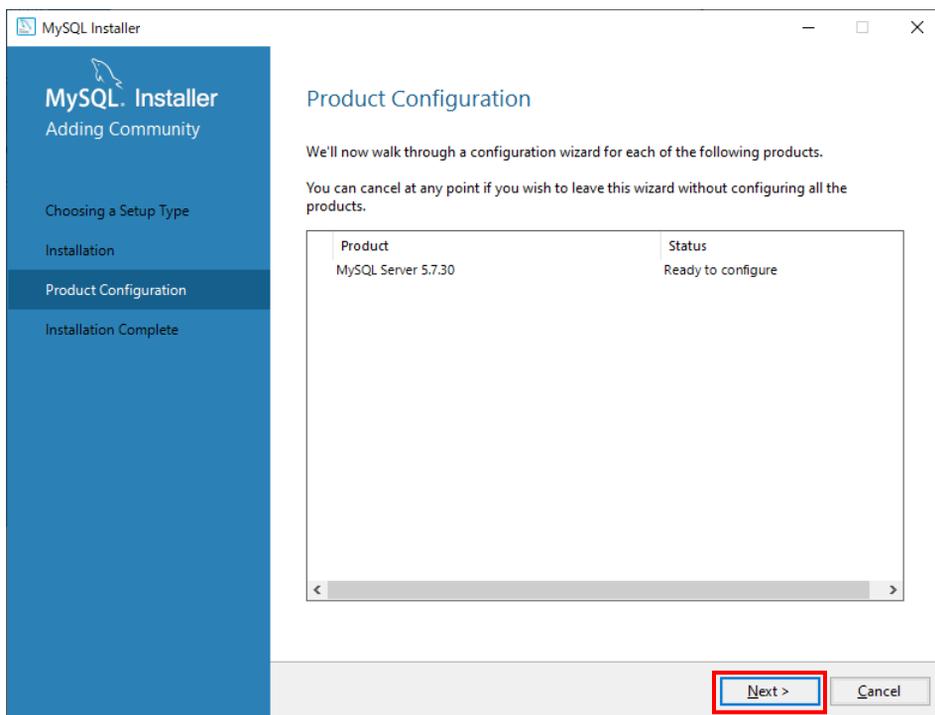
③枠内に「MySQL Server 5.7.30」が存在することを確認してから「Execute」ボタンをクリックします。



ソフトのインストールが行われます。しばらくお待ち頂き、左端に緑円にチェックのマークが全て表示されたら、「Next」ボタンをクリックします。

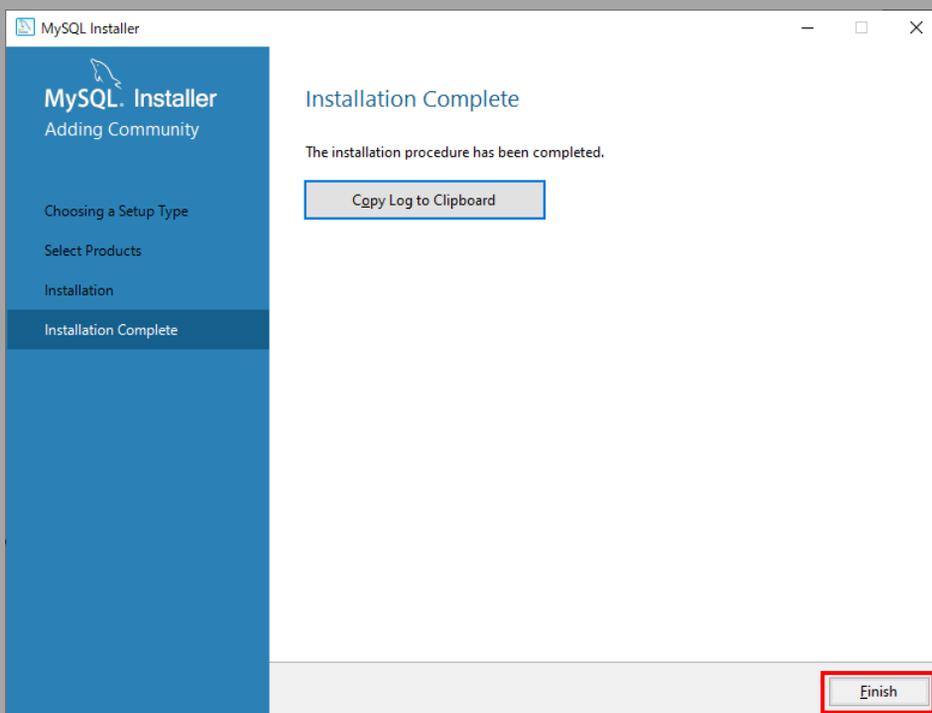


※ご利用になるPC/タブレット端末によっては、次の画像のようにMySQLの利用要件を満たしているかどうか確認画面が表示されることがありますが、そのまま「Next」ボタンをクリックします。

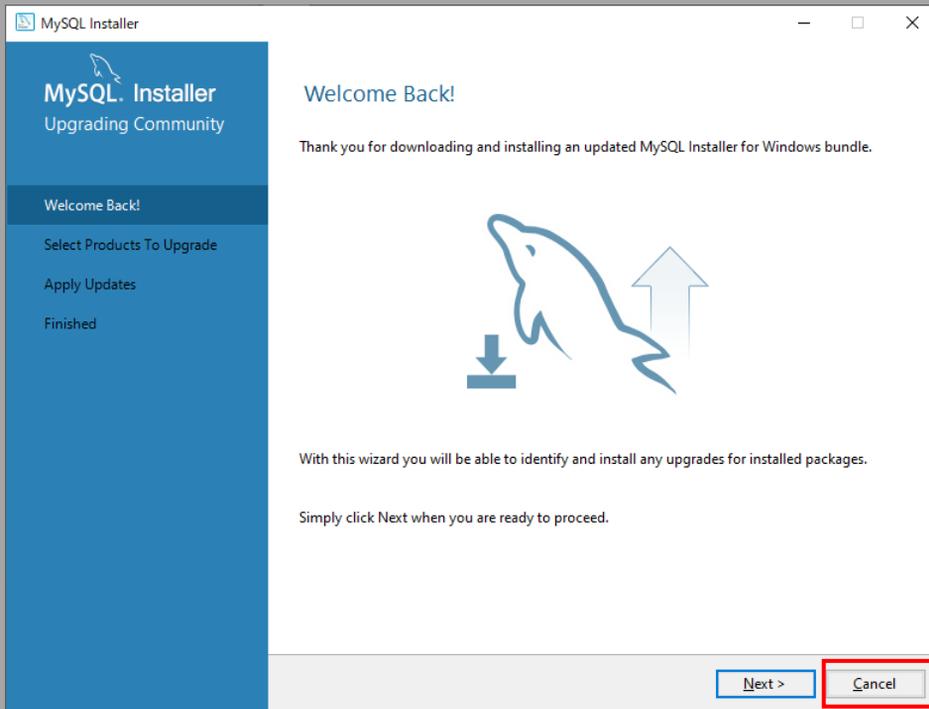


※③実施後に下記の画面となってしまった場合は、別途MySQLの設定画面を呼び出す必要があります。

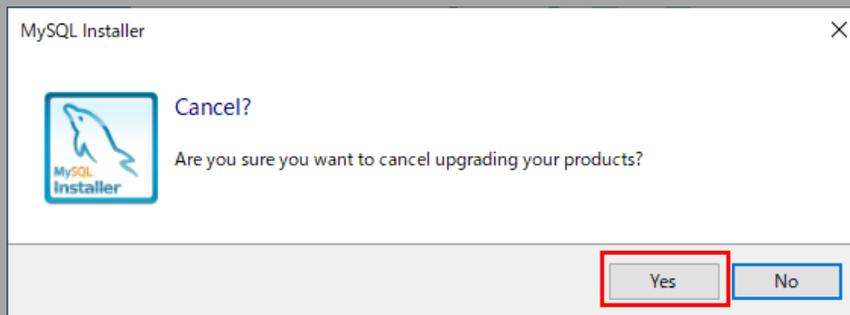
1.まず「Finish」ボタンにて「MySQL Installer」を終了します。



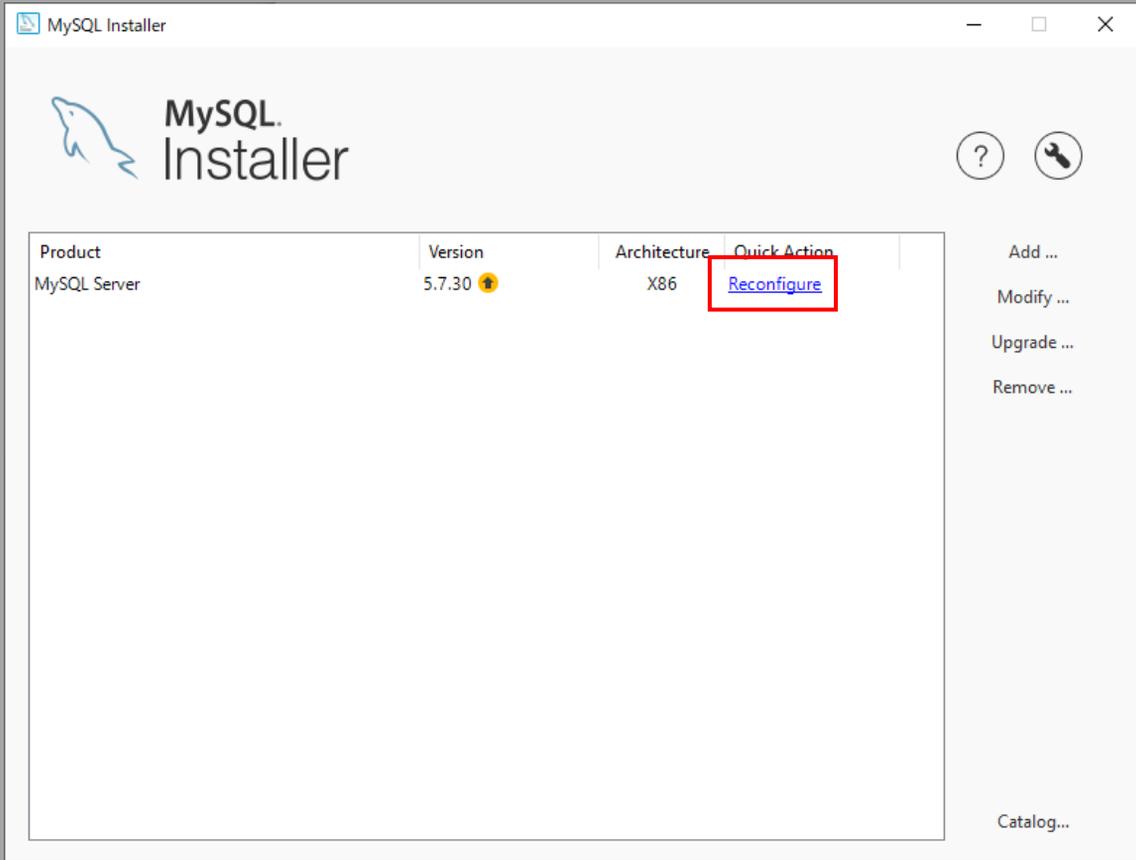
2. (①と同様の手順) 「mysql-installer-web-community-5.7.30.0.msi」 ファイルをダブルクリックで起動してください。以下の画面にて「MySQL Installer」が起動されますので、「Cancel」をクリックしてください。



表示されたメッセージに対しては「Yes」をクリックしてください。

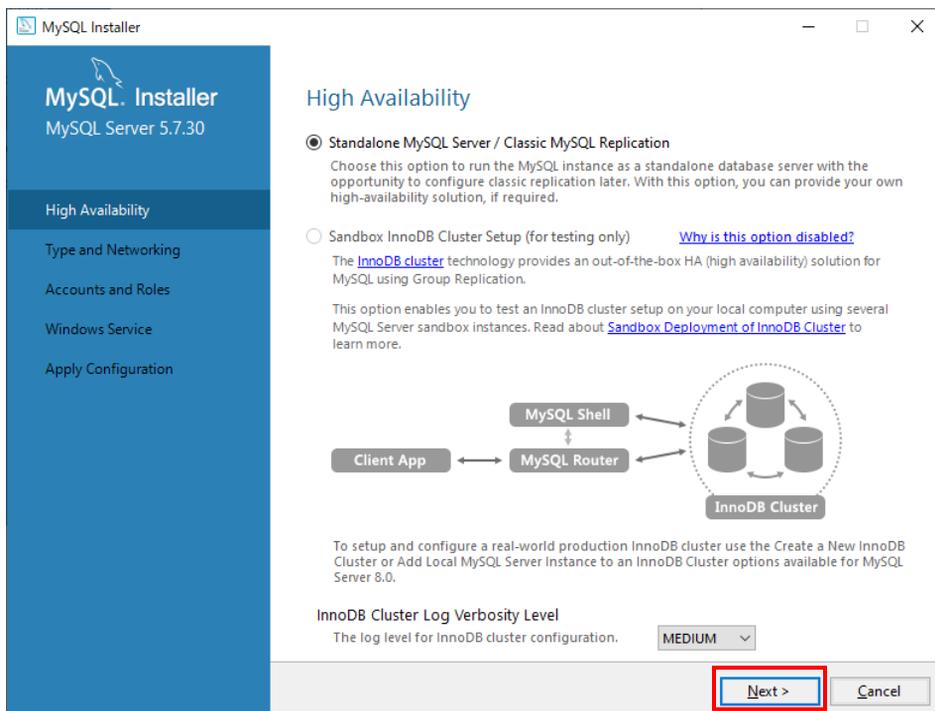


3. 「MySQL Installer」のメニュー画面が表示されますので、赤枠の「Reconfigure」リンクをクリックしてください。クリック後から⑤以降の設定を実施してください。

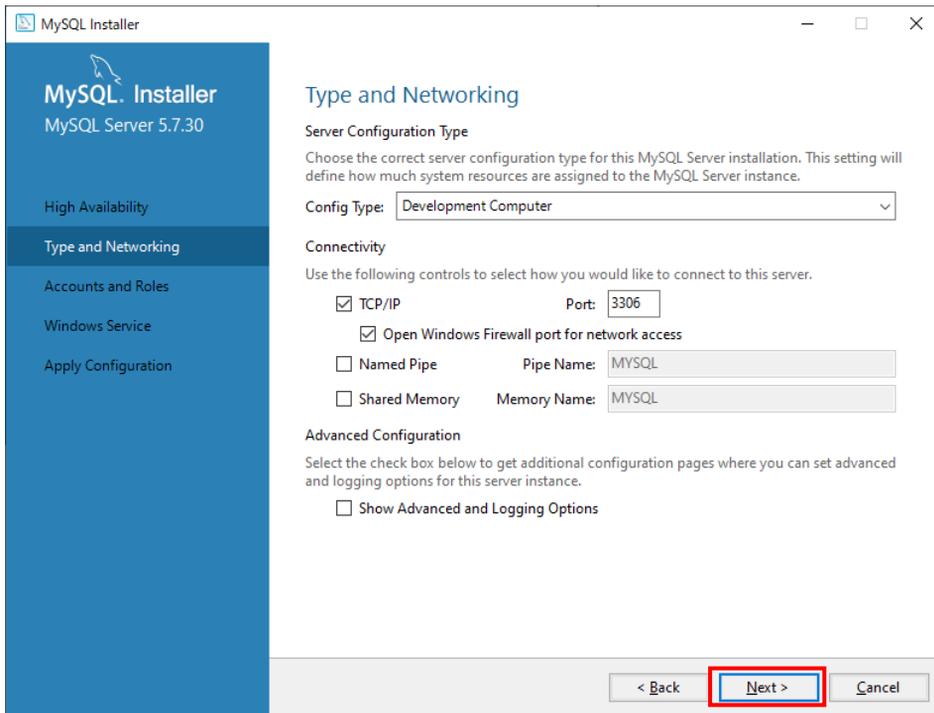


④③から下記画面が表示されましたら「Standalone MySQL Server / Classic MySQL Replication」のラジオボタンを選択し、「Next」ボタンをクリックします。

※こちらの画面は表示されない場合がありますが影響はありません。



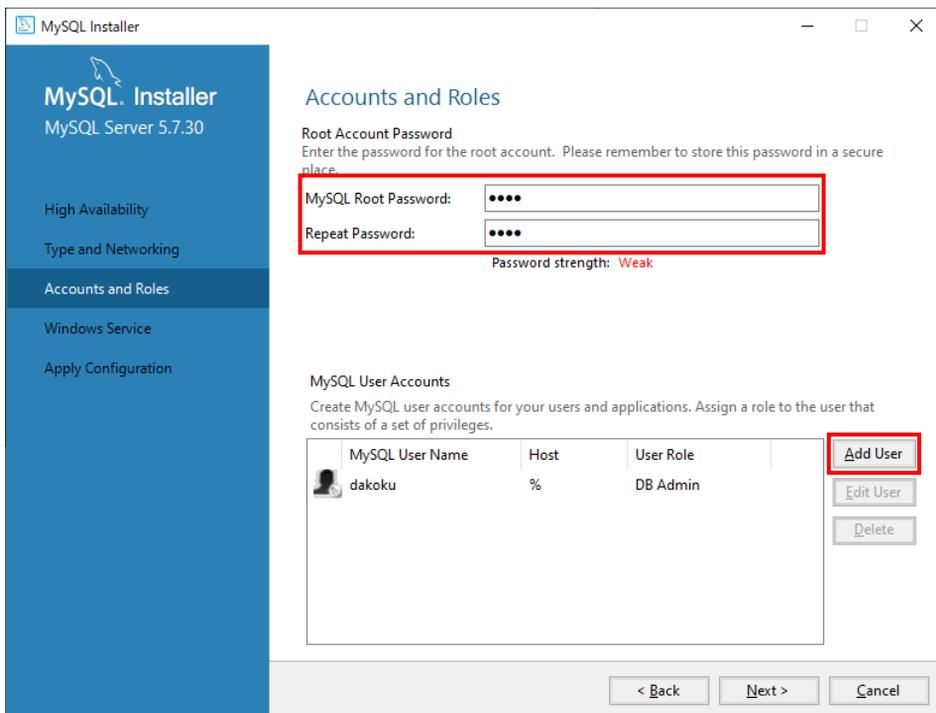
⑤何も変更せず「Next」ボタンをクリックします。



⑥データベースアカウントの設定をします。

まず、「MySQL Root Password」と「Repeat Password」の欄に「root」と入力します。
※もしパスワードが登録できない場合、インストール頂いたサーバーのバージョンが誤っている可能性があります。

次に「Add User」ボタンを押下すると、次ページの画面が別画面で表示されます。



❌ ⑥以外の画面が表示された、または⑥ではなく⑦の画面が表示された場合はご利用のPCに存在するMySQL Serverのデータによって、正常な設定が行えない状態にあります。

「Cancel」にてインストール作業を中断し、以下を実施の上再度①よりインストールを実施してください。

1. Windowsの設定->アプリより、「MySQL Server 5.7」「MySQL Installer - Community」「MySQL Installer for Windows -Community」を全てアンインストールします。
2. 各フォルダ「C:¥Program Files¥MySQL」「C:¥ProgramData¥MySQL」を削除します。（「C:¥Program Files¥MySQL」についてはインストール時の設定により該当場所に無い場合があります。ご自身でアプリをインストールしたフォルダを確認頂き、アプリのフォルダを削除してください。）

それぞれ、「User Name」「Password」「Confirm Password」欄に「dakoku」と入力します。他は何も変更せず「OK」ボタンをクリックします。

※ユーザーアカウント作成は必ず行ってください。アプリが正常に起動できなくなります。

MySQL User Account

Please specify the user name, password, and database role.

User Name: dakoku

Host: <All Hosts (%)>

Role: DB Admin

Authentication: MySQL

MySQL user credentials

Password: ●●●●●●

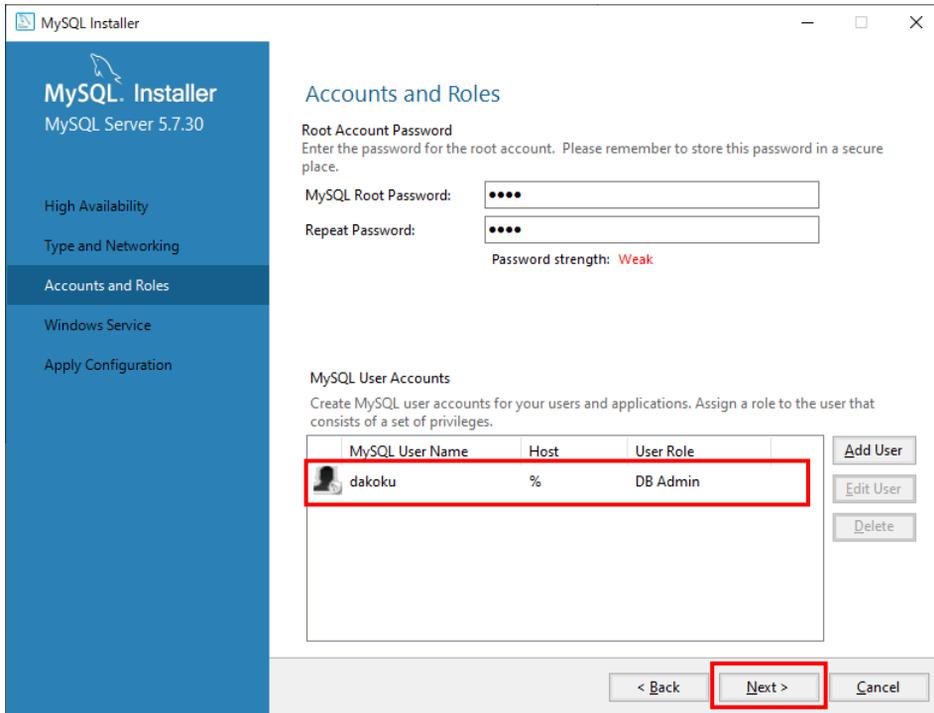
Confirm Password: ●●●●●●

Password strength: Weak

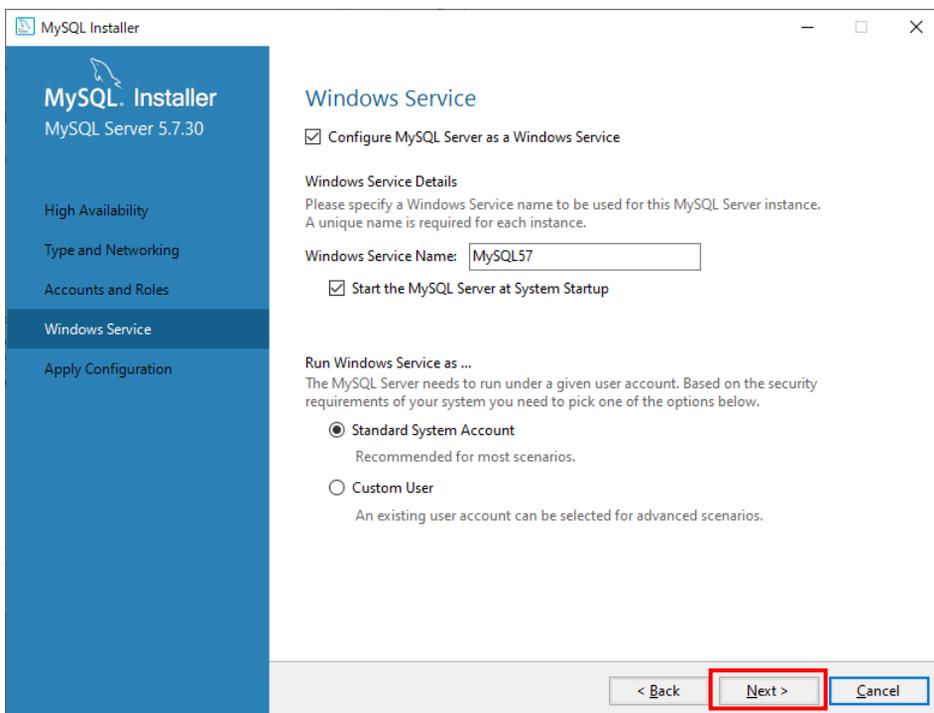
OK Cancel

どちらにも「dakoku」と入力

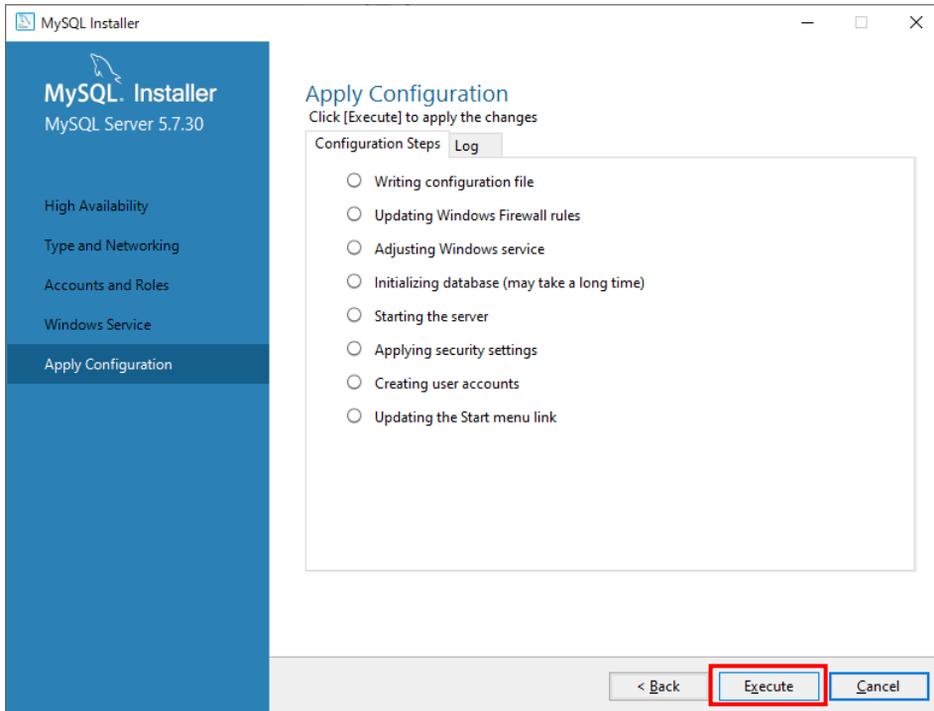
「MySQL User Accounts」に「dakoku」ユーザーが追加されていることを確認してから「Next」ボタンをクリックします。



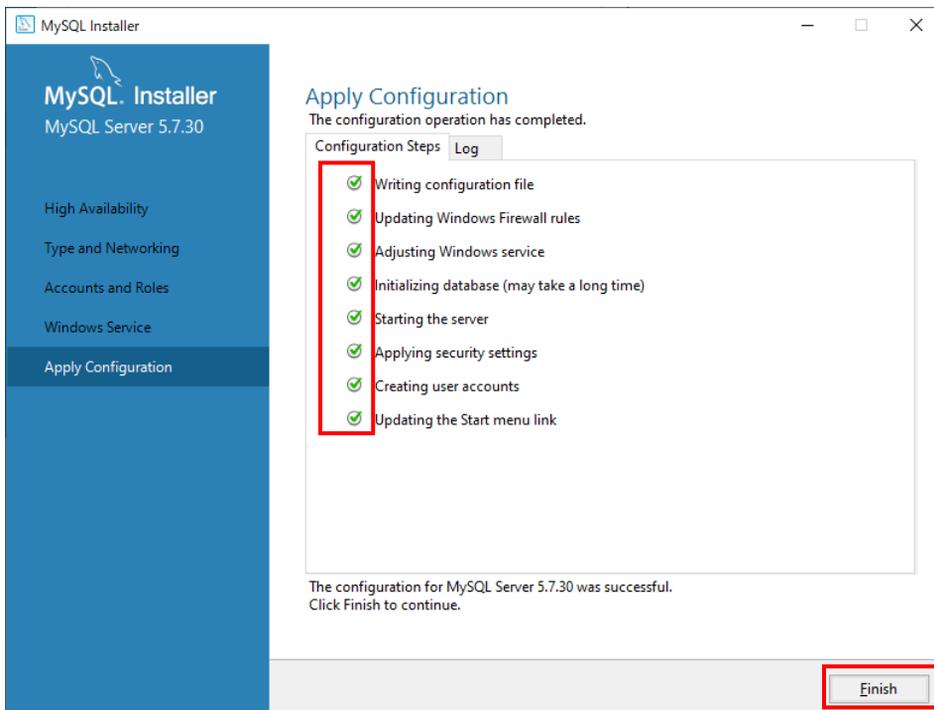
⑦何も変更せず「Next」ボタンをクリックします。



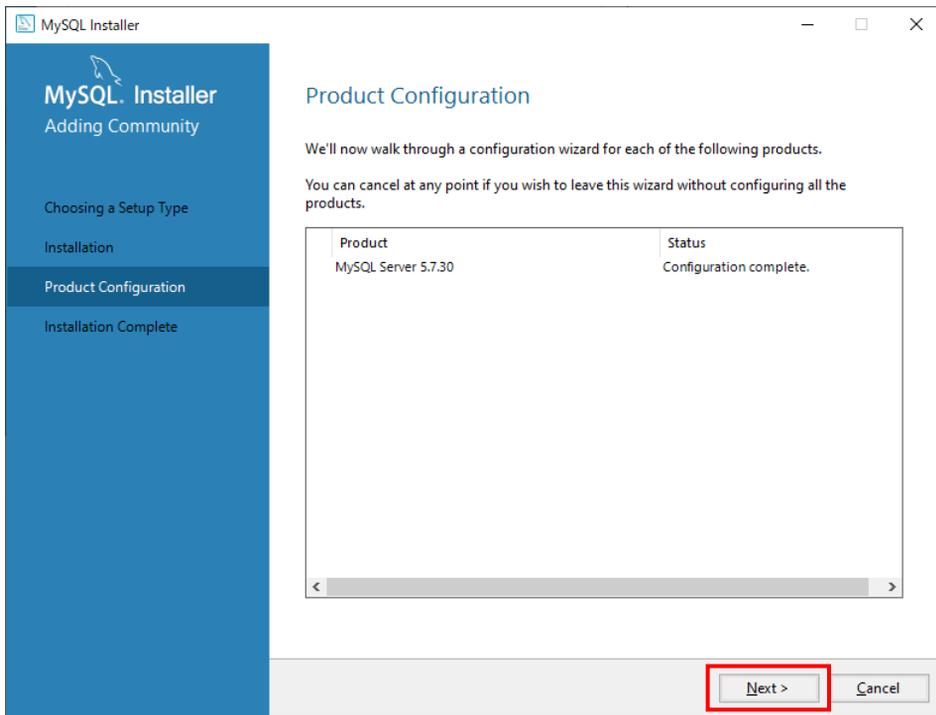
⑧ 「Execute」 ボタンをクリックします。



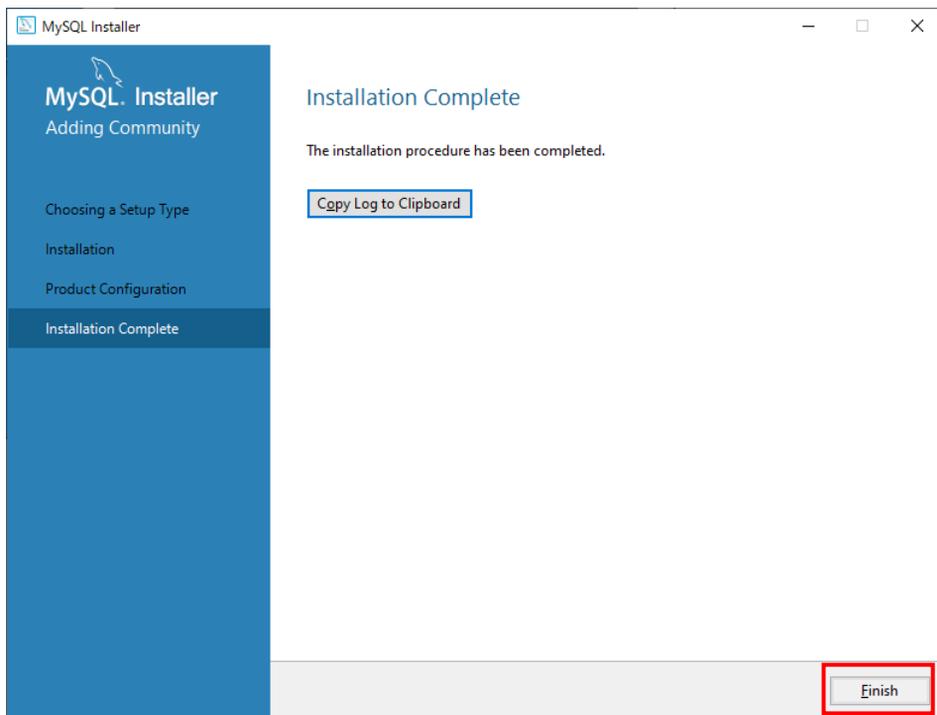
全てにチェックがついたら 「Finish」 ボタンをクリックします。



※再びMySQLの利用要件を満たしているかどうか確認画面が表示されることがありますが、そのまま「Next」ボタンをクリックします。



⑨ 「Installation Complete」の画面が表示された場合は、そのまま「Finish」をクリックします。



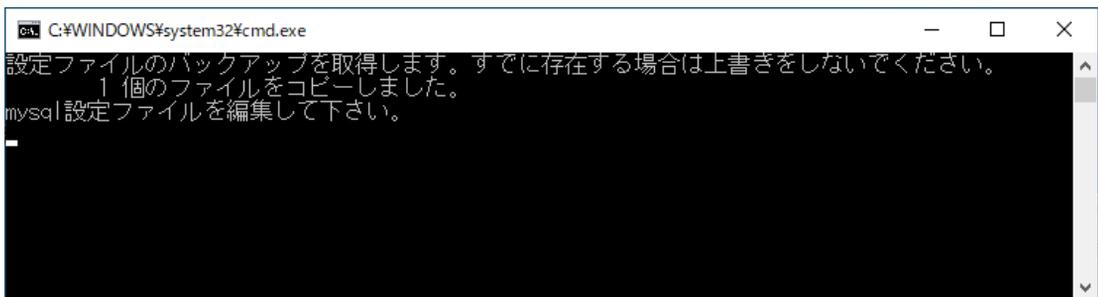
⑩作成した環境の設定を変更します。

※本作業を行わないとデータが正しく記録できませんので、必ず実行してください。
※内容をよく確認の上入力してください。文字列誤りや記号の不足などが起きると、アプリの起動に失敗します。特に「-」が欠けていないか確認してください。

本アプリのインストーラーZIPファイルを解凍して頂いた際に同梱している「DB」フォルダ内にあります、「環境ファイル編集.bat」ファイルをダブルクリックで起動してください。

起動すると下記コマンドプロンプト画面とメモ帳が開かれます。メモ帳が開かれましたらコマンドプロンプトは閉じて問題ありません。

もし「C:¥ProgramData¥MySQL¥MySQL Server 5.7¥my.ini_bk を上書きしますか? (Yes/No/All):」と表示されたら、「no」または「n」を入力しEnterキーを押下してください。



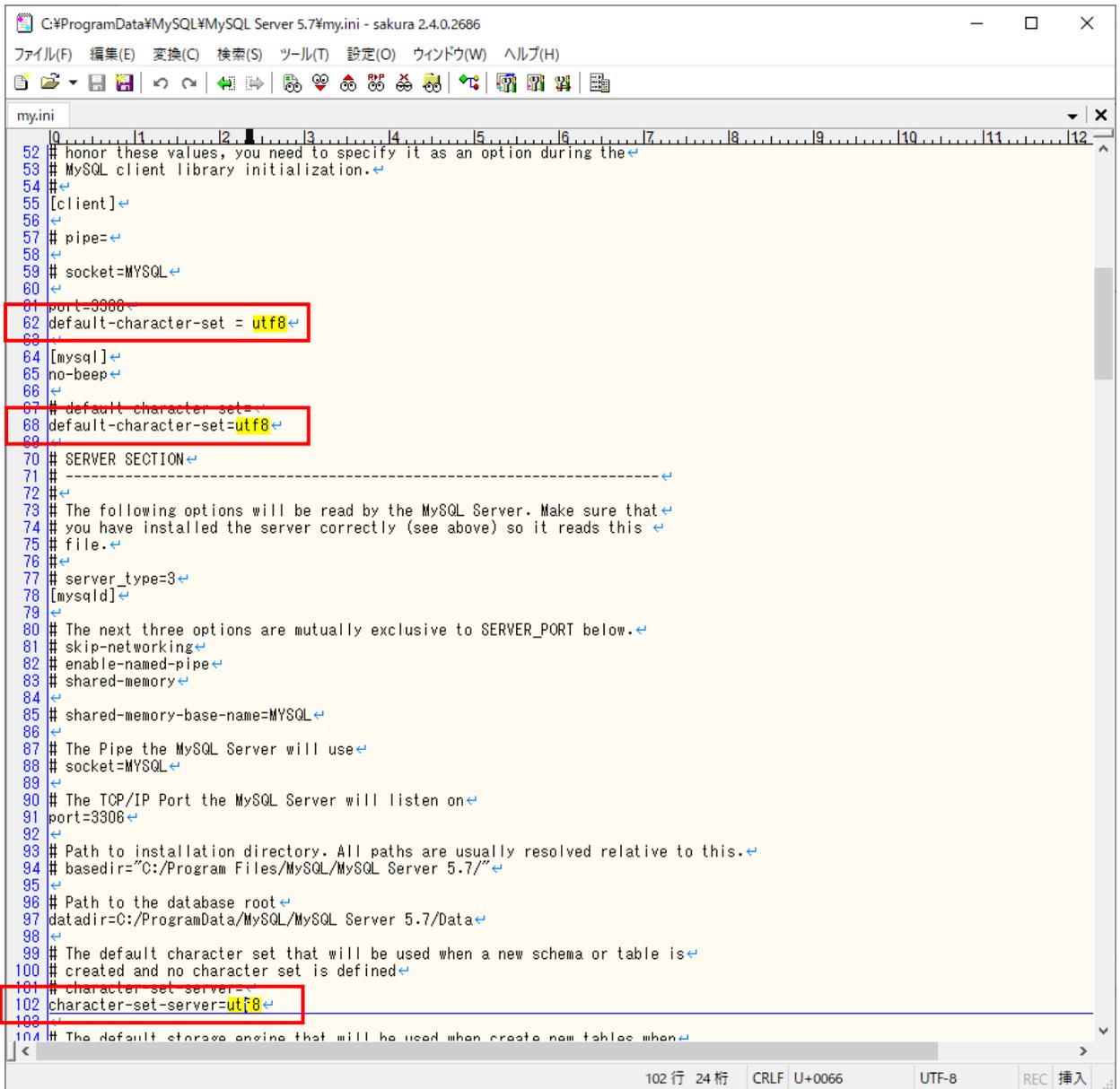
※バックアップファイルを復元する場合：

エクスプローラーに「C:¥ProgramData¥MySQL¥MySQL Server 5.7」と入力してください。「my.ini_bk」が初期のバックアップファイルになります。

メモ帳にて開かれたファイルの中身を編集します。下記3箇所を追記したら「保存」し、一度PC/タブレットを再起動してください。

追記箇所：

- およそ62行目 「default-character-set = utf8」 ([Client]と[mysql]の間)
- およそ68行目 「default-character-set = utf8」 ([mysql]と[mysqld]の間)
- およそ102行目 「character-set-server = utf8」 ([mysqld]以降)

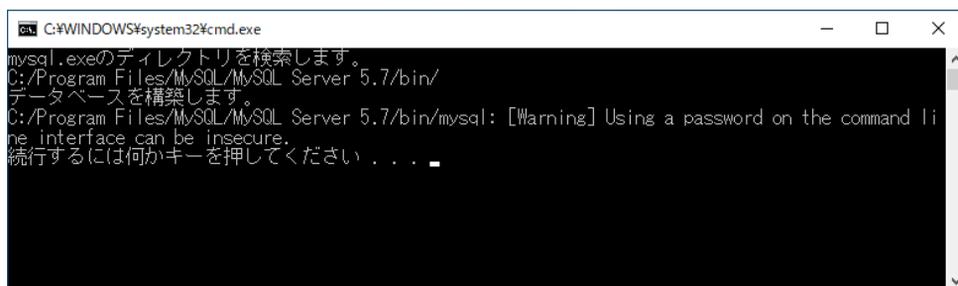


```
C:\ProgramData\MySQL\MySQL Server 5.7\my.ini - sakura 2.4.0.2686
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
my.ini
52 # honor these values, you need to specify it as an option during the
53 # MySQL client library initialization.
54 #
55 [client]
56 #
57 # pipe=
58 #
59 # socket=MYSQLE
60 #
61 port=3306
62 default-character-set = utf8
63 #
64 [mysql]
65 no-beep
66 #
67 # default character set=
68 default-character-set=utf8
69 #
70 # SERVER SECTION
71 # -----
72 #
73 # The following options will be read by the MySQL Server. Make sure that
74 # you have installed the server correctly (see above) so it reads this
75 # file.
76 #
77 # server_type=3
78 [mysqld]
79 #
80 # The next three options are mutually exclusive to SERVER_PORT below.
81 # skip-networking
82 # enable-named-pipe
83 # shared-memory
84 #
85 # shared-memory-base-name=MYSQLE
86 #
87 # The Pipe the MySQL Server will use
88 # socket=MYSQLE
89 #
90 # The TCP/IP Port the MySQL Server will listen on
91 port=3306
92 #
93 # Path to installation directory. All paths are usually resolved relative to this.
94 # basedir="C:/Program Files/MySQL/MySQL Server 5.7/"
95 #
96 # Path to the database root
97 datadir=C:/ProgramData/MySQL/MySQL Server 5.7/Data
98 #
99 # The default character set that will be used when a new schema or table is
100 # created and no character set is defined
101 # character_set_server=
102 character-set-server=utf8
103 #
104 # The default storage engine that will be used when create new tables when
```

⑪データベースにテーブルを作成します。

本アプリのインストーラーZIPファイルを解凍して頂いた際に同梱している「DB」フォルダ内にあります、「データベース設定_stand.bat」ファイルをダブルクリックで起動してください。

以下のコマンドプロンプトが起動しますので、「続行するには何かキーを押してください...」と表示されましたら、Enterキーを押下してください。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
mysql.exeのディレクトリを検索します。
C:/Program Files/MySQL/MySQL Server 5.7/bin/
データベースを構築します。
C:/Program Files/MySQL/MySQL Server 5.7/bin/mysql: [Warning] Using a password on the command line interface can be insecure.
続行するには何かキーを押してください... 
```

※「データベース設定_stand.bat」ファイル起動後に同フォルダ内に作成される、「out.log」ファイルについて、もしサイズが[OKB]である場合は正常にデータベースが構築できていません。

手順⑤～⑨の設定を行っていない・失敗している可能性が高いため、再設定してください。再設定についてはP7以降の灰色背景で示した手順をご確認ください。

1.3 カードリーダーの準備

本アプリのご利用には、カードリーダーおよびICカードのご準備が必要です。

ICカードリーダー	非接触ICカードリーダー/ライター PaSoRi(パソリ) RC-S380
対応ICカード	登録する利用者人数分（お一人一枚必要です。） <利用可能カード例> Felica <ul style="list-style-type: none">各種交通機関系カード（Suicaなど）電子マネーカード（nanacoなど）おサイフケータイ対応スマートフォン MIFARE <ul style="list-style-type: none">自動車免許証入門証など

カードリーダーのご利用には、ドライバーのインストールが必要となります。ドライバーのインストール/設定方法については、製品付属の説明書・製品のWebサイトよりご確認ください。

ご用意頂いたカードリーダーおよびICカードがご利用頂けるか、事前に確認して頂けます。ダウンロードフォルダ内にあります「ReaderTEST.exe」を起動してください。

確認手順は

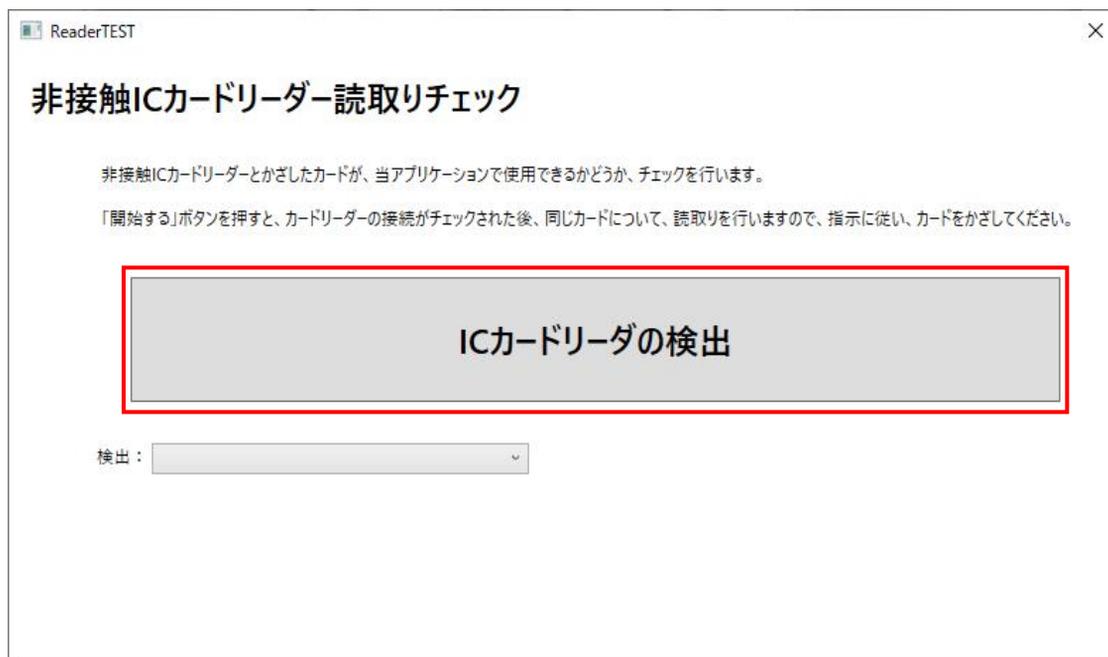
①ICカードリーダーの検出

②読み取りの開始

③カード情報の読み取り/読み取り結果の表示

となります。

アプリが起動しましたら、お手持ちのカードリーダーを機器に接続頂いた状態で「ICカードリーダーの検出」ボタンをタッチしてください。



カードリーダーが認識できると、ボタンが「開始する」に変化します。検出プルダウンには検出できたカードリーダーの情報が表示されます。複数リーダーを接続している場合は検出プルダウンより読み取りを確認したいリーダーを選択してください。「開始する」ボタンをタッチすると、ボタンが「カードをかざしてください」に変化し、カードの読み取り待機状態となります。



エラーメッセージが表示された場合は、下記一覧を参照し確認してください。

エラーメッセージ内容	対処法
ICカードリーダーが見つかりません。接続を確認してください。	接続状態を確認してください。
スマートカードリソースマネージャが稼働していません。正しくドライバがインストールされているか確認してください。	接続しているカードリーダーのドライバーが正しくインストールされているか確認してください。
スマートカードエラーです。ICカードリーダーが正しく接続されているか確認してください。	接続状態を確認してください。
IDが特定できないため、このカードは使うことはできません。	読み取りに利用されたカードはお使いいただけません。

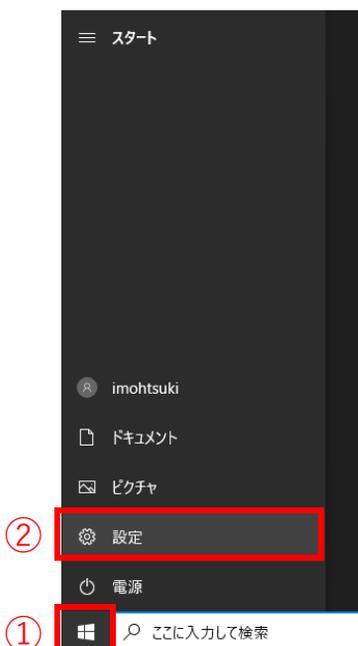
本アプリの設定にてご不明・疑問点等がありましたら、販売サイトのお問い合わせページより事象について詳細を記述頂いた上でお問い合わせください。

1.4 端末本体の設定

常駐型アプリという特徴を持つ本アプリのご利用にあたって、幾つか端末側で設定が必要となります。

1.4.1 スクリーンセーバーと電源オプション

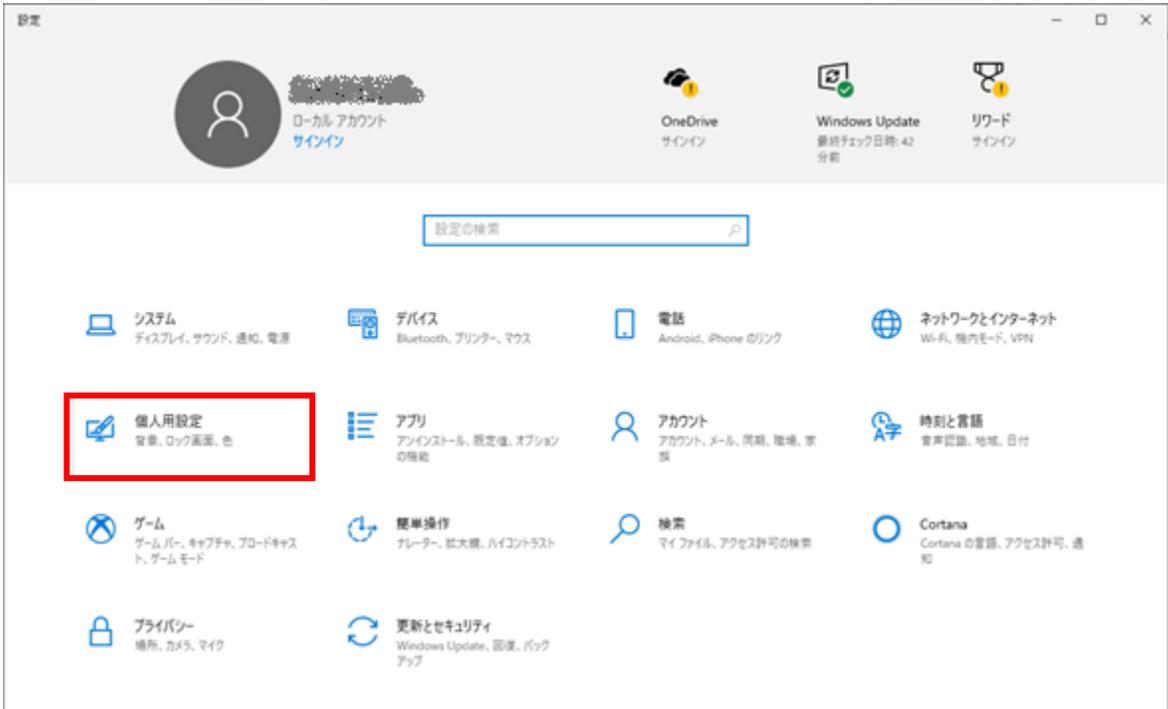
ご利用中の端末が自動でログオフもしくはシャットダウンされないよう、設定のご確認をお願い致します。



スクリーンセーバーの確認/設定方法

- ① 「ウィンドウズアイコン」をクリックし、スタートメニューを表示します。
- ② 表示されたスタートメニューの歯車アイコン（設定）をクリックし、設定画面を起動します。

- ③設定画面から「個人用設定」を選択します。
 ※お使いの端末によっては表示画面が異なる場合がございます。



- ④個人用設定画面のメニューから「ロック画面」を選択します。ロック画面の設定が表示されたら画面下にありますが「スクリーンセーバー設定」をクリックします。



⑤表示されたスクリーンセーバーの設定画面にて、赤枠内のスクリーンセーバーの時間設定で「(なし)」を選択します。選択後は「OK」ボタンをクリックし、設定を保存してください。



電源プランの確認/設定方法

①先ほどの続きで、「電源設定の変更」をクリックしてください。

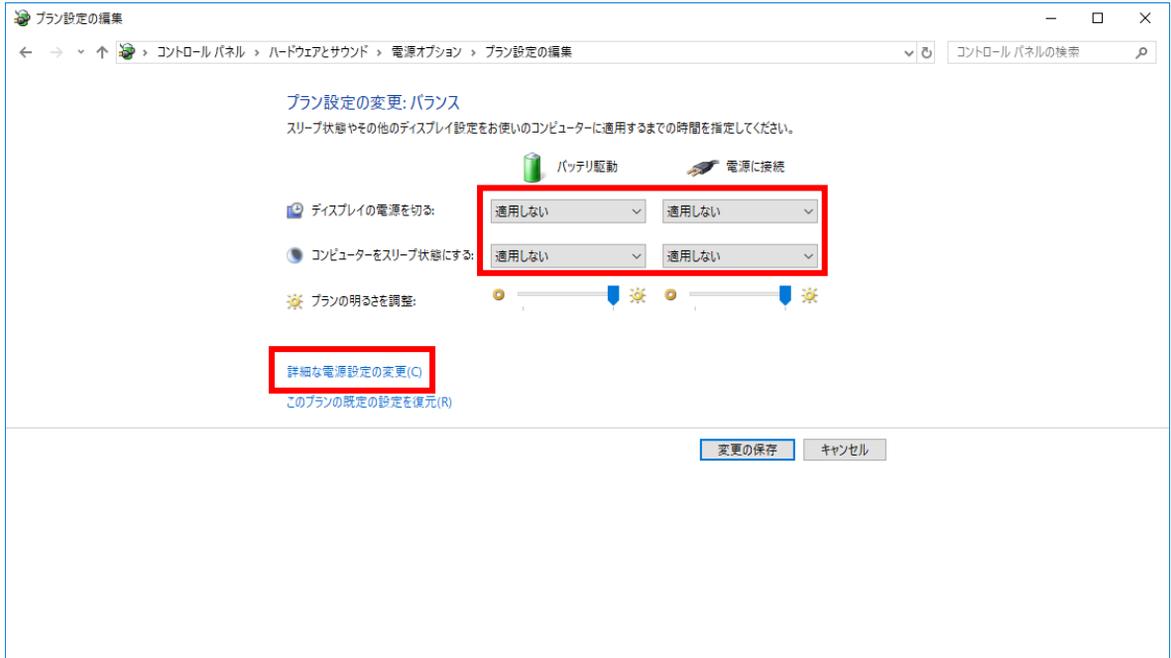


②電源オプション画面にてプランをバランス(推奨)に変更します。変更後、「プラン設定の変更」をクリックします。



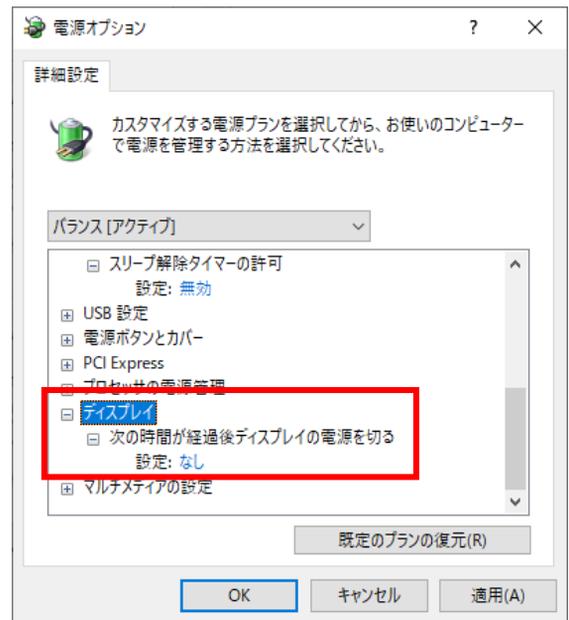
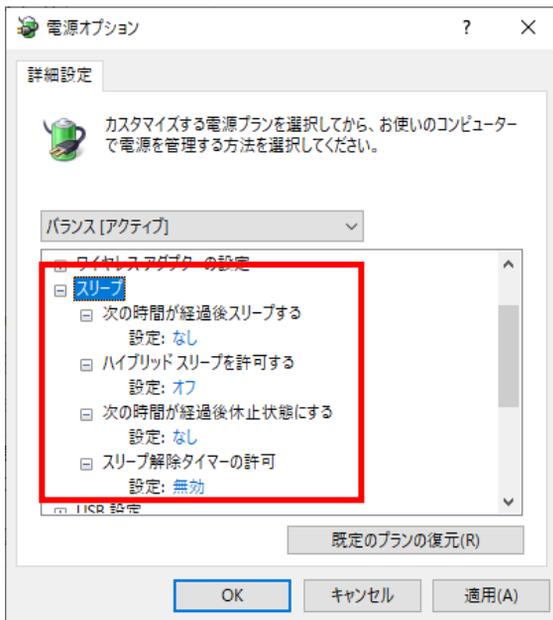
③プラン設定の編集画面にて、各「電源を切る」「スリープ状態にする」設定にて「適用しない」を選択します。
※お使いの端末によって画面が異なりますが、全て「適用しない」を選択してください。
設定後、「詳細な電源設定の変更」をクリックしてください。

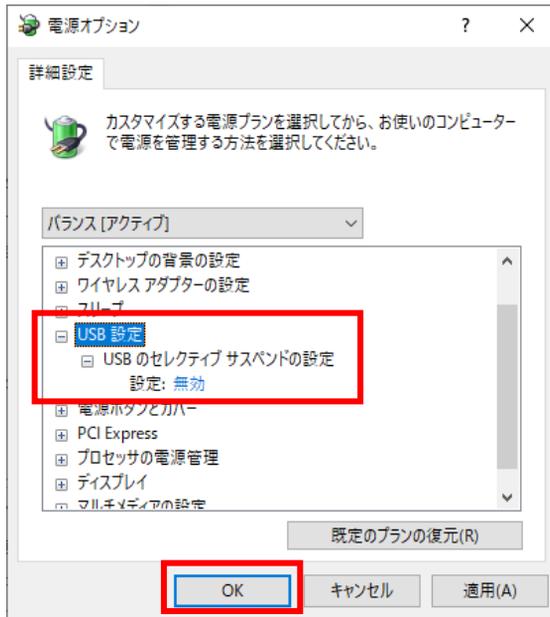




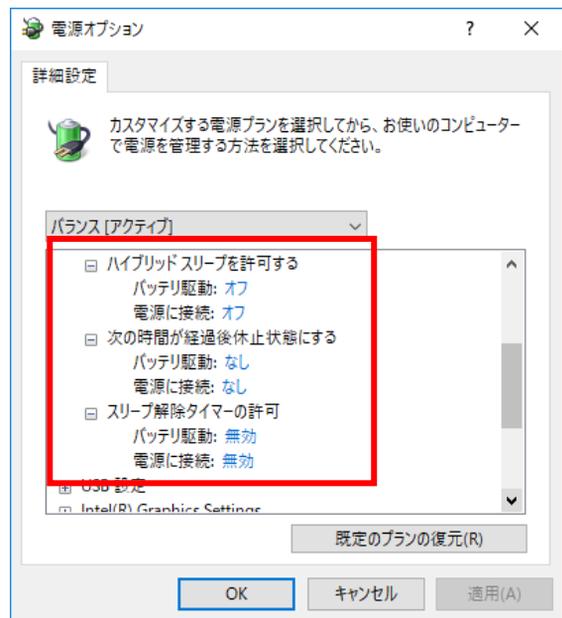
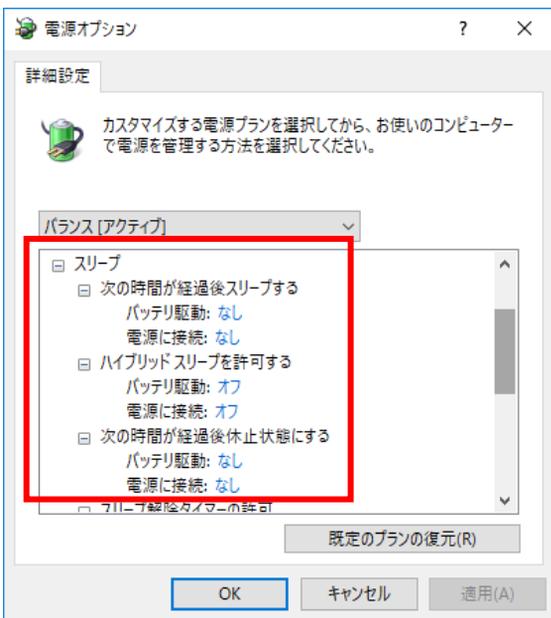
④電源オプション画面にて「スリープ」と「ディスプレイ」、「USB設定」の「-」をクリックし、設定を展開します。それぞれ電源とスリープ、USB設定に関する項目の設定値が「なし」「オフ」「無効」となっていることを確認してください。なっていない場合は変更してください。設定後に「OK」ボタンをクリックして、電源オプション画面を閉じてください。

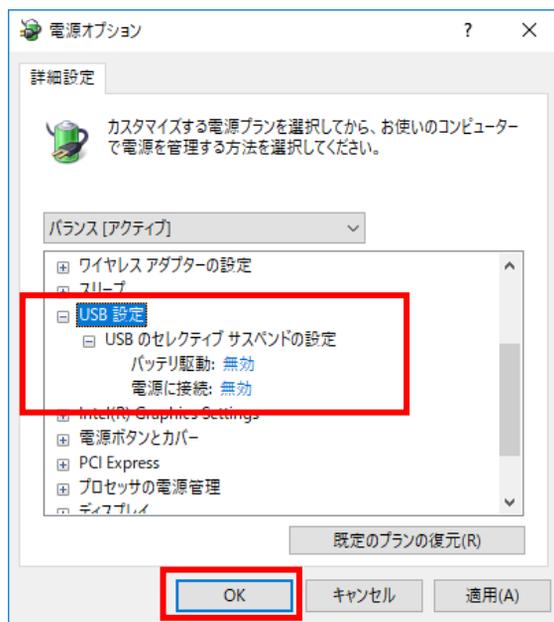
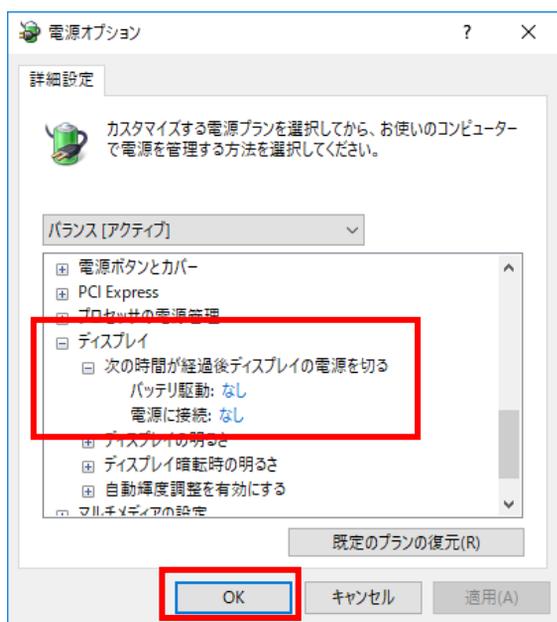
例) デスクトップの場合





例) ノートPCなどの場合





⑤プラン設定の編集画面にて「変更の保存」ボタンをクリックし、設定を保存します。※ボタンが有効状態でない場合は設定の変更を行っていないことによりますので、クリックの必要はありません。

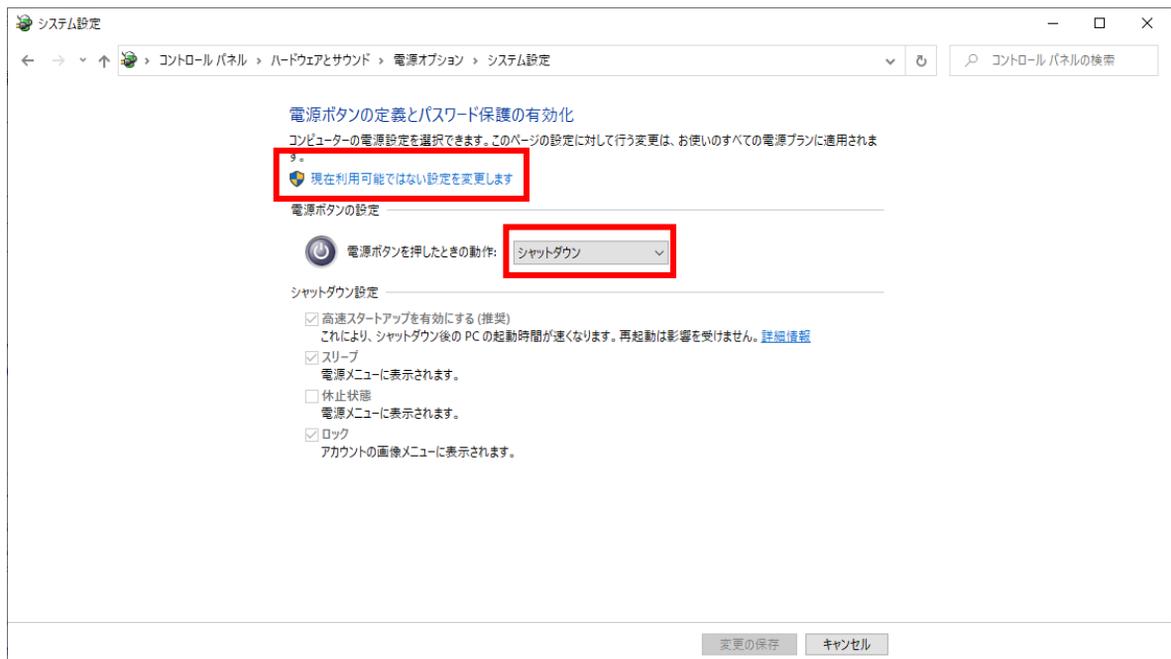


電源ボタンの動作の確認/設定方法

①先ほどの続きで、一度電源オプション画面に戻り、「電源ボタンの動作と選択」をクリックしてください。



②システム設定画面にて、電源ボタンを押したときの動作にて「シャットダウン」を選択します。次に「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、有効化されたシャットダウン設定にて、「高速スタートアップを有効にする」チェックボックスをオフにします。設定後、「変更の保存」ボタンをクリックします。

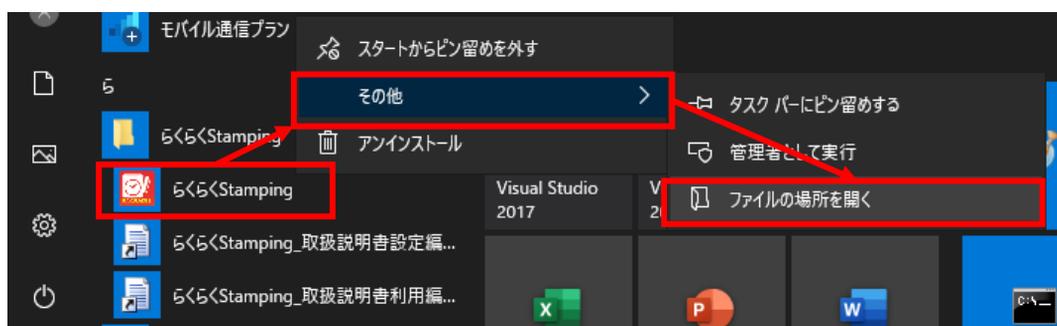


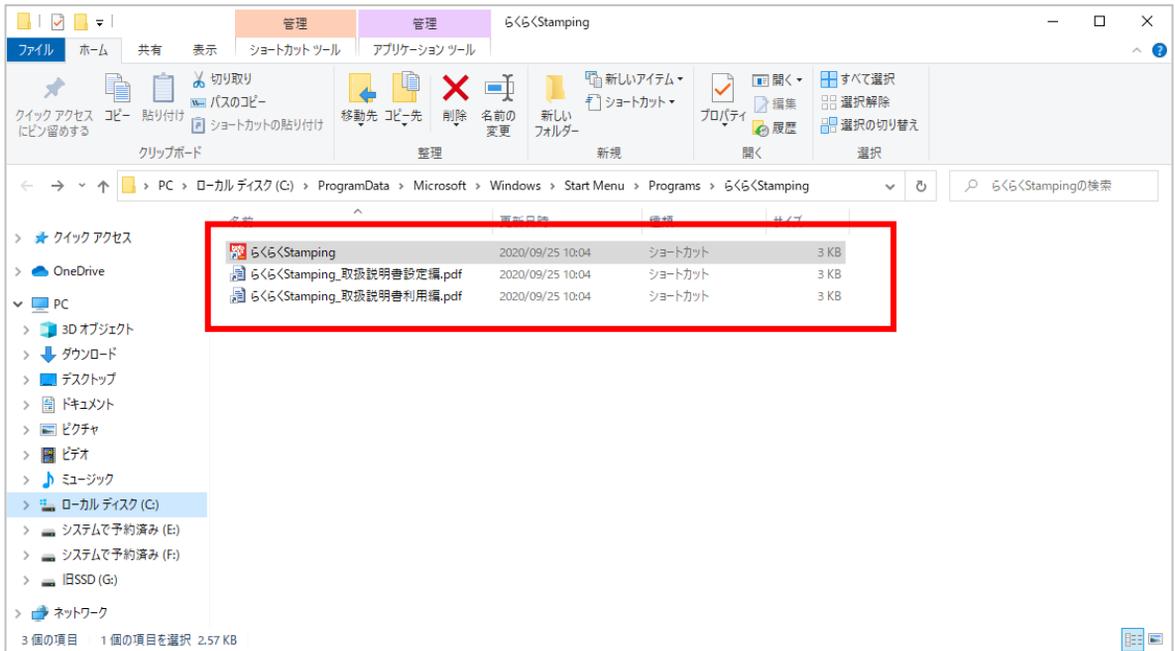


1.4.2 スタートアップ

予期せぬシャットダウン等が発生した場合でも、端末にログイン後すぐにアプリが起動されるように設定を行います。

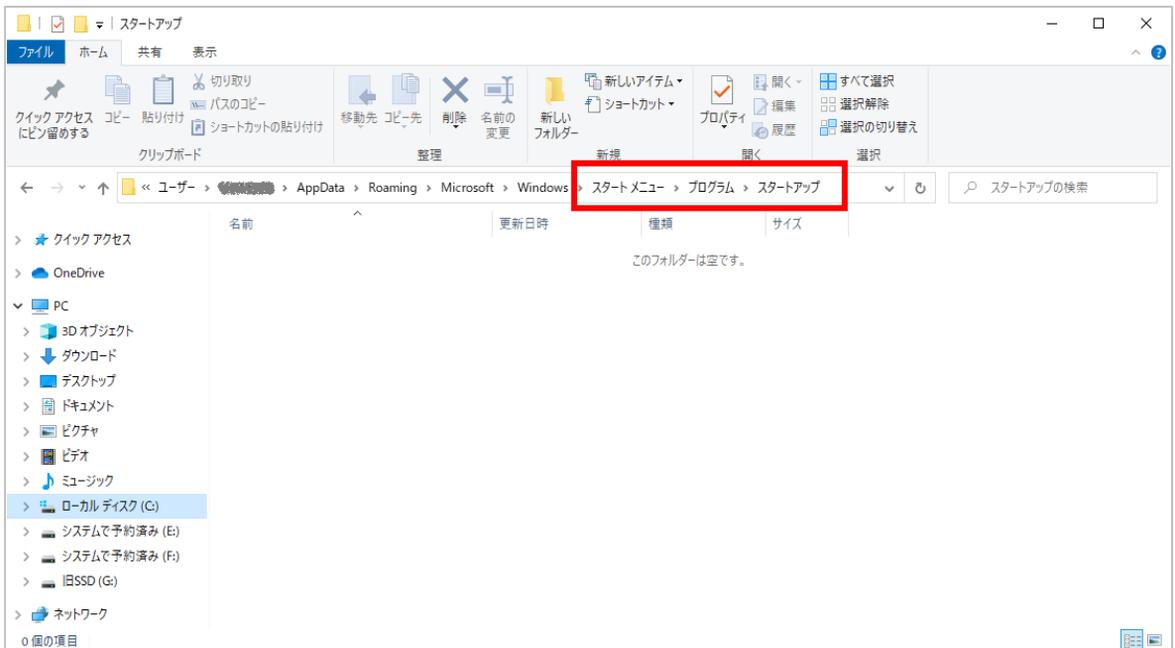
①スタートメニューから「らくらくStamping」アプリ上で右クリックをします。表示されたメニューから「その他」→「ファイルの場所を開く」をクリックします。エクスプローラーが起動し、本アプリのファイルがある場所が開かれます。

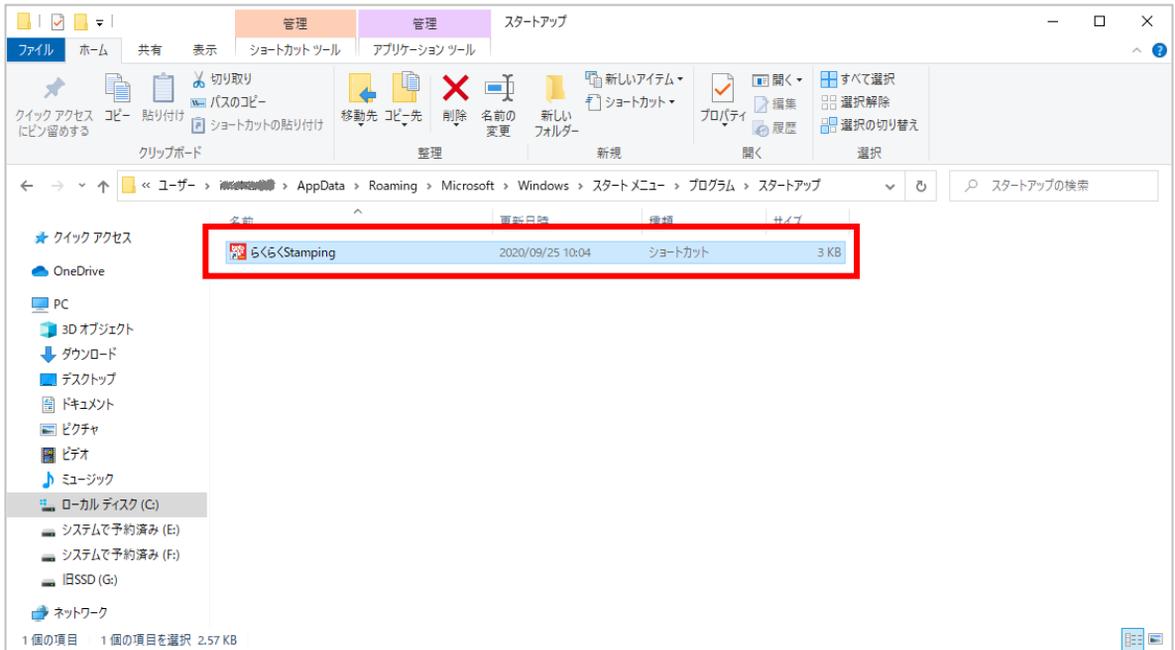




②新しくエクスプローラーを表示し、パス入力欄に「shell:startup」と入力後Enterキーを押下します。スタートアップのフォルダが表示されたら、①で開いた本アプリのショートカットをスタートアップフォルダにコピー＆ペーストします。（本来のアプリフォルダからショートカットを削除しないように気を付けて作業を行います。）

これでスタートアップの準備は完了です。

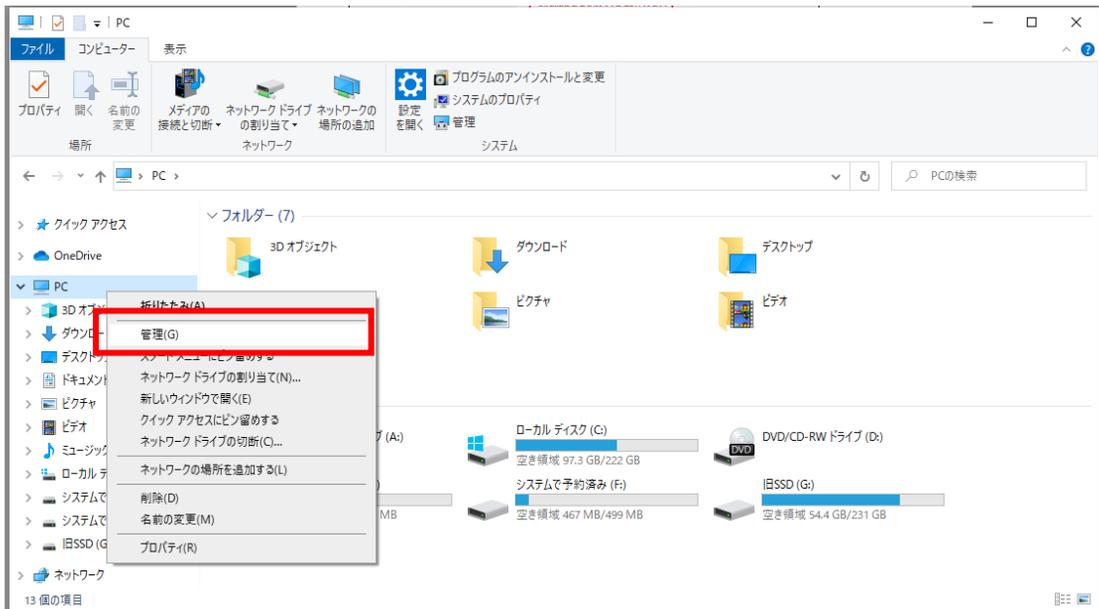




1.4.3 Windows Update手動化

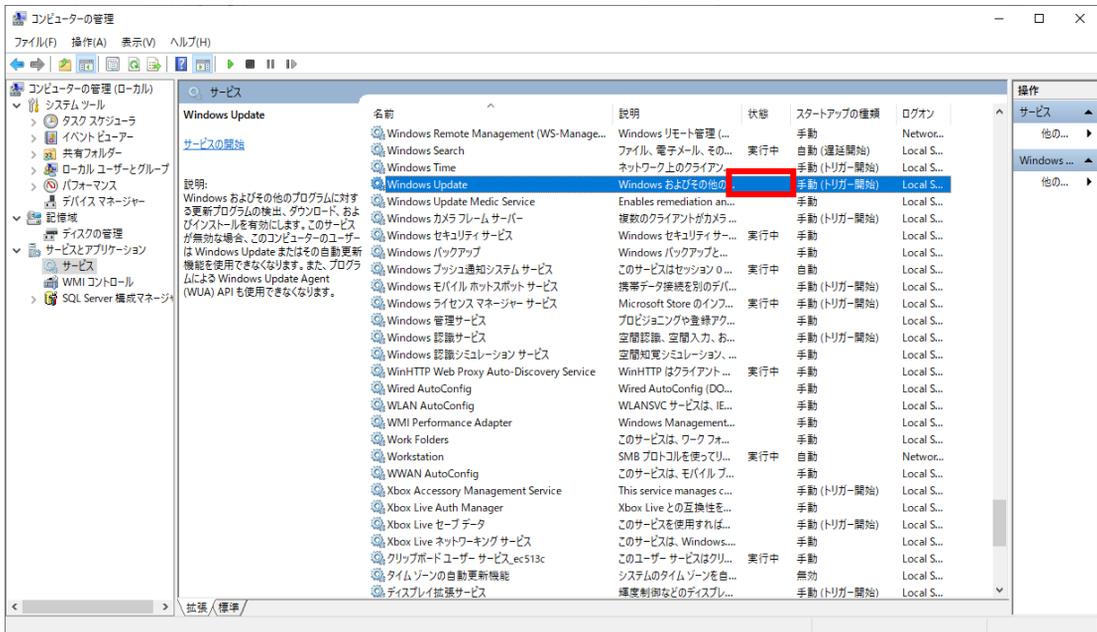
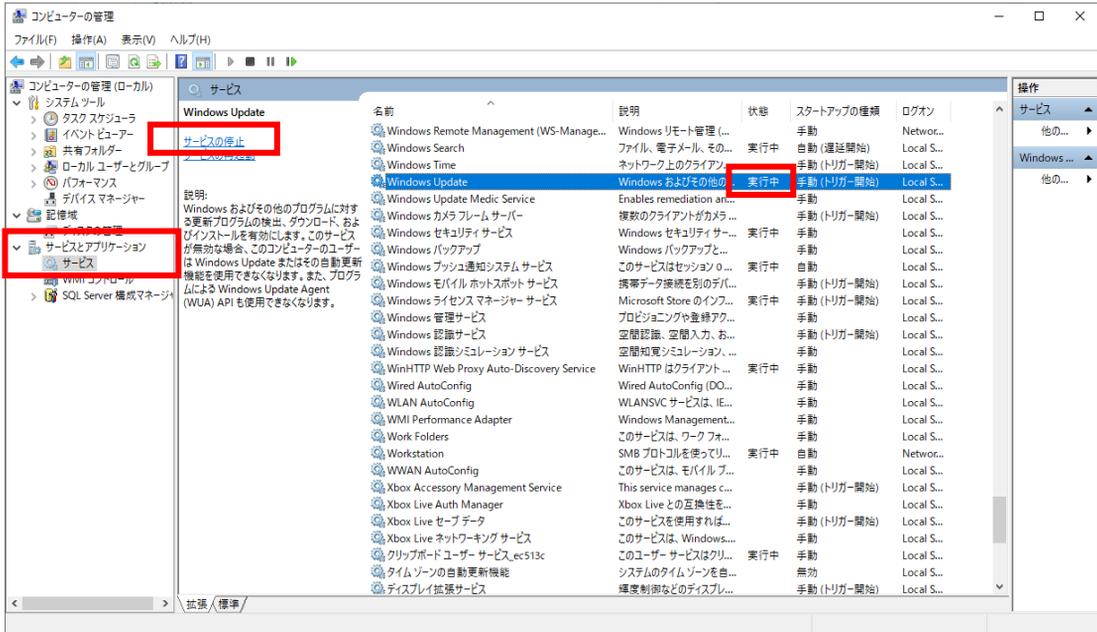
Windows Updateが自動で行われることによる予期せぬアプリの終了を防ぐため、Windows Updateを手動化する設定を行います。

- ①エクスプローラーを新しく開き、左にあるメニューからPCを選択し、右クリックから「管理」を選択します。

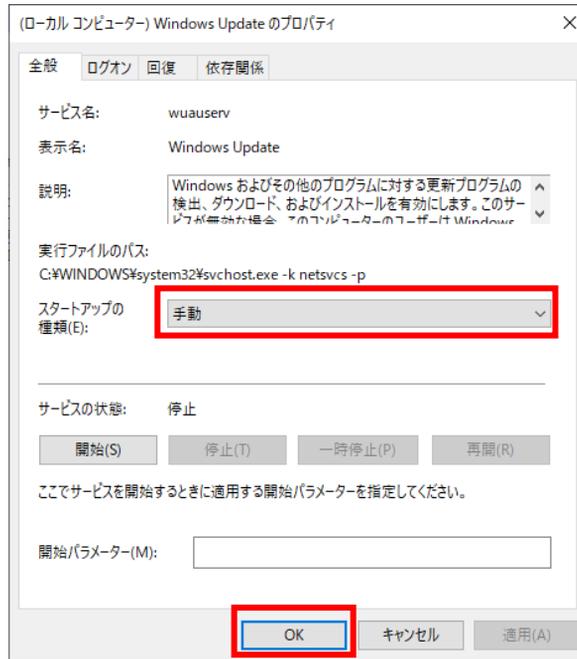


②コンピュータの管理画面が開かれたら、左のメニュー欄より「サービスとアプリケーション」→「サービス」を選択します。サービス一覧が開かれたら中から「Windows Update」を選択します。

※ここでWindows Updateの状態が実行中の場合は、まず「サービスの停止」を行ってください。

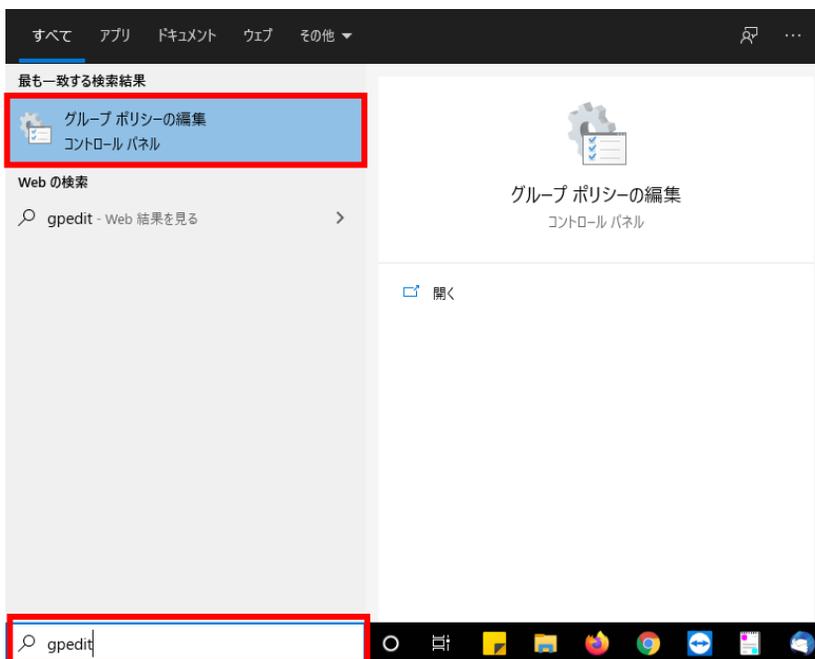


③Windows Updateのプロパティ画面にて、スタートアップの種類を「手動」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。



④次にグループポリシーの変更を行います。端末のタスクバー上にある検索ボックス内に「gpedit」を入力し、検索結果に表示された「グループポリシーの編集」をクリックします。

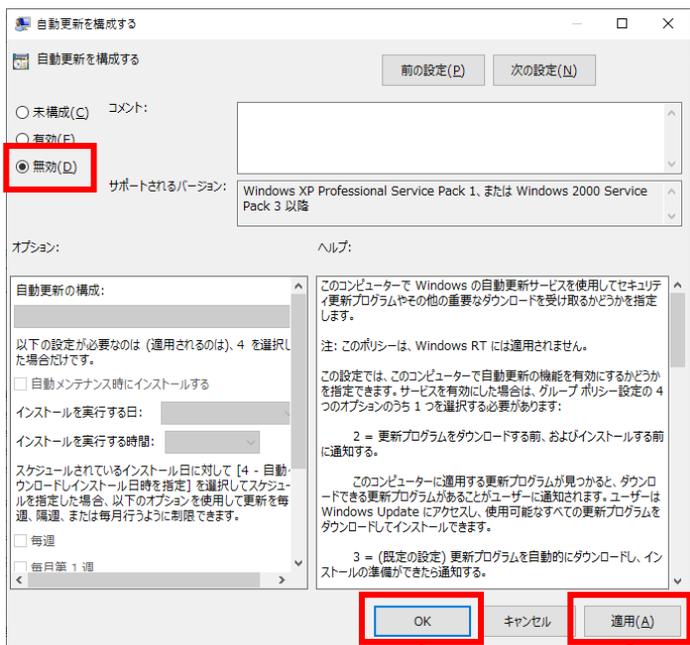
※グループポリシーはお使いのWindows10のエディションによっては設定できません（Windows 10 Pro、Windows 10 Enterprise、Windows 10 Educationのみ利用可能）。本ステップの検索にて「グループポリシーの編集」が表示されなかった場合は、⑥まで手順をスキップしてください。



ローカルグループポリシーエディターが表示されたら、画面左の一覧より「ローカルコンピューターポリシー」→「コンピューターの構成」→「管理者テンプレート」→「Windowsコンポーネント」→「Windows Update」を選択します。表示された設定の中から「自動更新を構成する」を選択、ダブルクリックします。



⑤設定画面が表示されたら、左上のラジオボタンから「無効」を選択し、「適用」→「OK」ボタンの順にクリックします。設定後、「自動更新を構成する」の状態が「無効」となっていることを確認してください。



⑥Windows Updateの更新設定を変更する設定をバッチにて行います。ダウンロードフォルダ内にあります「WinUpdateOff」フォルダを確認してください。フォルダ内の「wupdateoff.bat」を選択した状態で右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。

※下記のようなセキュリティの警告が表示された場合は、「実行」をクリックしてください。またコマンドプロンプトのユーザーアカウント制御が表示されることがありますが、こちらも「はい」をクリックして処理を継続してください。



バッチが正常に起動、処理されると下記の画面が表示されます。「続行するには何かキーを押してください...」メッセージが表示されましたら、Enterキーを押下するとコマンドプロンプトが閉じられます。（もしくは右上の×より閉じてください）

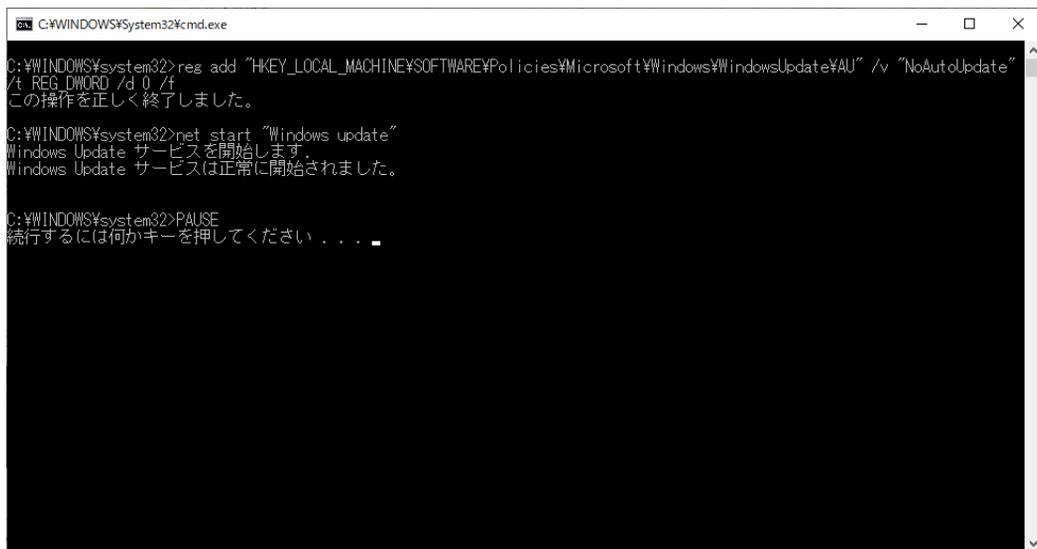
全て設定完了後にお使いの端末を再起動してください。

これにてWindows Updateの手動更新化は完了になります。以降Windows Updateは、管理者の手により任意のタイミングで実施することをお勧めします。

※ステップ④、⑤を飛ばしている場合は、スケジューラによってWindows Updateが開始されることがあります。OS Windows10の仕組みにより、更新を手動としても自動的に更新される設定に戻されることがあるためです。確実に更新を停止したい場合にはより高度な設定等を必要とするため、説明書には記載致しません。ご了承ください。

※なお手動化設定を解除されたい場合は、先ほどのバッチが格納されている同フォルダ内にあります「wupdateon.bat」を管理者にて実行してください。手動化の際と同様にセキュリティ警告・ユーザーアカウント制御が表示された場合も同様に実行することで下記の画面が表示されます。

この画面が表示されましたらWindows Updateの設定が再度自動化されていることをご確認ください。



```
C:\WINDOWS\system32>reg add "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Microsoft\WindowsUpdate\AU" /v "NoAutoUpdate" /t REG_DWORD /d 0 /f
この操作を正しく終了しました。

C:\WINDOWS\system32>net start "Windows update"
Windows Update サービスを開始します。
Windows Update サービスは正常に開始されました。

C:\WINDOWS\system32>PAUSE
続行するには何かキーを押してください . . .
```

1.4.4 セキュリティソフト設定

ご利用の端末にセキュリティソフトを導入している場合、スキャンの実行や保護の状況により本アプリの動作が不安定になるもしくは強制終了してしまう可能性があります。

そのためセキュリティソフトを導入する場合は自動スキャンから手動スキャンに設定の変更をしていただくことをお勧めします。

※セキュリティソフトの設定方法については開発元へご確認ください。

2. よくあるトラブル

2.1 DBをインストール後にアプリを起動しても「データベースを再作成してください。[らくらくStamping_ご利用設定マニュアル]を見て、データベースを作成してから起動してください。」とエラーメッセージが表示される。

1.2⑩や⑪の作業で失敗している可能性があります。

⑩については一度バックアップを戻して頂き、再度「my.ini」ファイルの修正を行ってください。

※PDFからコピー＆ペーストをしている場合、記号の一部が半角スペースに置き換わっている可能性があります。今一度ファイルへの記載に誤りがないかご確認ください。

また1.2⑪のテーブル作成に成功しているか確認してください。DBフォルダ内のOut.logのサイズが[OKB]の場合は再度⑤～⑨を再度確認頂いてからdb_inst.batを実行してください。

2.2 アプリを起動しても「データベースに接続できません。接続状況を確認してください。もしくはデータベースのインストールおよび作成を行ってください。」とエラーメッセージが表示される。

1.2⑧のユーザー登録作業で失敗しているもしくは実環境に既にMySQLがインストールされている可能性があります。対応方法が異なりますので、ご確認ください。

<1> 1.2⑧のユーザー登録作業で失敗している

この場合MySQLのインストールを実施しなおす必要があります。

「Windowsスタートメニュー」→「設定」→「アプリ」から「MySQL Server 5.7」をアンインストールしてから、再度1.2②からMySQLのインストールを実施してください。

※MySQLアンインストールの際、アプリ一覧内に「MySQL Installer -Community」「MySQL Installer for Windows -Community」もありましたら合わせて削除ください。

<2> 実環境に既にMySQLがインストールされている

この場合実環境のルートユーザー設定が一致しなかったことによって、テーブルの構築に失敗しています。

テーブル構築用のファイルをご自身の環境に合わせて頂くことで改善する可能性があります。DBフォルダ内の「db_inst.bat」をテキストファイルにて展開して頂き、テキストの赤字の箇所を「ご自身のMySQL環境にルートユーザーでログインする際のパスワード」に修正してください。修正後上書き保存し、1.2⑭を再度実施してください。

```
mysql -u root -proot < DB_Stand.sql > out.log
```

上記以外で本アプリの設定にてご不明・疑問点等がありましたら、販売サイトのお問い合わせページより事象について詳細を記述頂いた上でお問い合わせください。

ここまでの作業が完了しましたら、アプリ「らくらくStamping」ご利用前の準備は完了です。

アプリ「らくらくStamping」の操作については、別途「らくらくStamping_マニュアル」をご覧ください。

当マニュアルに関するお問い合わせに関しましては、下記販売サイトのお問い合わせページよりお願い致します。

<https://rakusuta.jp/>

発行者

有限会社進栄社

〒380-0871 長野県長野市西長野町70番地コーポ70内1階

2020年8月 初版 発行